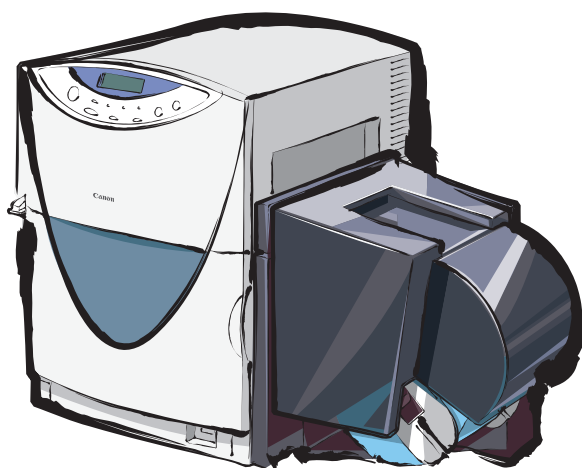
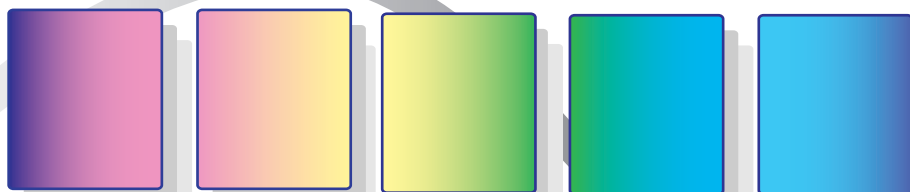


Canon

LX 750

COLOR LABEL PRINTER



本ガイドでは、詳細な設定項目からメンテナンスまでのすべての操作について説明しています。

ユーザーズガイド

- ▶ ご使用前に必ずこのユーザーズガイドをお読みください。将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、事務所や工場で使用される装置ですが、電波障害規制（VCCI）では、家庭環境でも使用でき得る規制値を満足しています。

お客様へのお願い

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条
等

本書の一部または全部を無断で転載する事は、禁止されています。

本装置および付属ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更される場合があります。

本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。

本装置および付属ソフトウェアを運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

商標について

本書では、Microsoft®Windows®95、Microsoft®Windows®98をそれぞれWindows 95、Windows 98と略して記載しています。

本書ではMicrosoft®Windows NT® 4.0をWindows NTと略して記載しています。

Pentiumは米国 Intel Corporation 社の商標です。

Microsoft®、Windows®は米国 Microsoft 社の米国、および他の国における登録商標です。

Adobe Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

本製品には、キヤノンアイテック株式会社によって開発されたソフトウェアが搭載されています。

WPL-Liteはキヤノンアイテック株式会社の登録商標です。 **WPL**Lite®

その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに



本書では、カラーラベルプリンタ LX 750 を使いこなしていただくためのすべての情報を説明しています。本機の機能や操作方法を十分にご理解いただき、末長くご使用ください。

掲載画面について

ユーザズガイドでは、プリンタドライバの設定画面は原則としてWindows 98で使用する場合の画面を使用しています。Windows 95で使用する場合もほとんど同じ設定画面が表示され、操作方法も変わりません。

Windows NTで使用する場合は設定画面が多少異なり、機能によっては操作方法にも若干の違いがあります。その場合は必要に応じてWindows NTでの操作を説明しています。

操作パネルのボタンキー名は、 で囲んで表しています。

例；  キー、  キー

マークについて

ユーザズガイドでは、次のマークを使用しています。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、障害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



禁止

取り扱いを誤った場合に、製品の故障や損傷、品質の低下が発生する恐れのある禁止事項が書かれています。快適に使用していただくために、必ずこの禁止事項をお守りください。



メモ

操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

目次

はじめに	1
安全にお使いいただくために	4
第 1 章 基本的な操作	10
1. 各部の名称と役割	10
2. 電源の入れかた／切りかた	12
3. 操作パネルの使いかた	13
4. 用紙のセットと交換	18
第 2 章 印刷操作	25
1. 印刷の準備	25
2. 印刷の開始	26
3. 印刷の中止	29
第 3 章 プリンタドライバの使いかた	30
1. プリンタドライバの機能	31
2. [メイン] タブの設定	33
3. [用紙] タブの設定	41
4. [オーバーレイ] タブの設定	48
5. [ユーティリティ] タブの設定	50
第 4 章 ステータスマニタの使いかた	54
1. ステータスマニタの機能	54
2. ステータスマニタの設定	55

第5章	メンテナンス	58
	1. ノズルチェックパターン	58
	2. ヘッドのクリーニング	60
	3. ノズル位置の微調整	61
	4. 設定値印刷	65
	5. インクカートリッジの交換	66
	6. プリンタの清掃	68
第6章	困ったときは	70
	1. メッセージが表示される	70
	2. 用紙が詰まったら	72
	3. 動かない・印刷されない	75
	4. 印刷結果に満足できない	77
第7章	付 録	79
	1. 移動について	79
	2. ソフトウェアのインストール	81
	3. 仕 様	91
	4. オートカッターの使いかた（オプション）	92
索 引	100

お客様ご相談窓口

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

保管・設置場所について



警告

本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などが入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電・故障の原因となることがあります。

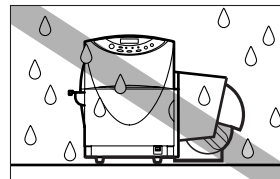
アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。



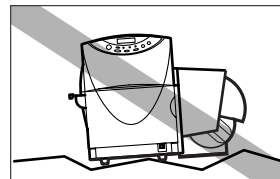
注意

次のような場所でのご使用は避けてください。

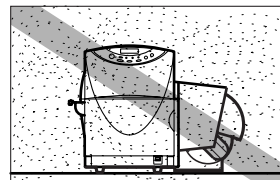
潮風が当たる場所や湿気が多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。また、部屋を急激に暖めた場合や、暖かい部屋へ本機を移動した場合、内部に水滴（結露）が生じることがあります。この場合は、一時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてから使用してください。



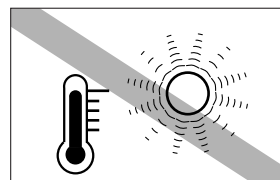
くらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、本機の上に重いものをのせないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因となることがあります。



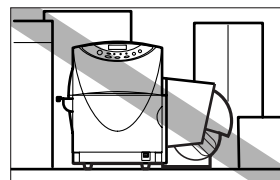
ホコリの多い場所や潮風が当たる場所など塩分の多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。また、水道の蛇口付近や水気のある場所に置かないでください。感電の原因となることがあります。



直射日光が当たる場所やエアコンの側、車の中などのように、温度変化の激しい場所には置かないでください。火災・故障の原因となることがあります。

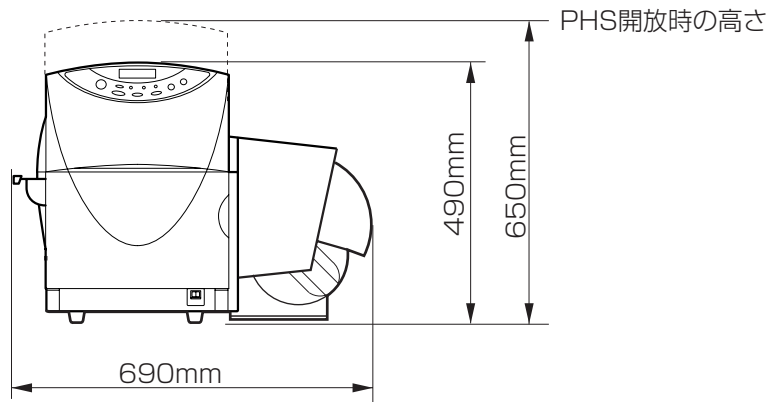


本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。また、いつでも電源プラグを抜けるように、コンセントの周りにはものを置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

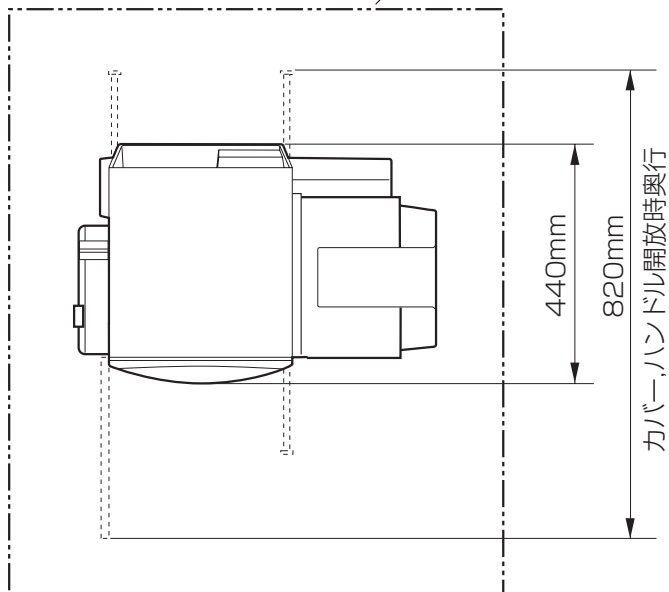


設置スペース

設置スペースは十分おとりください。



設置スペースを十分おとりください

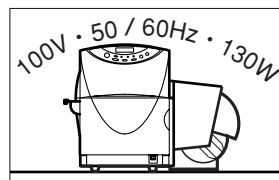


電源および電源コードについて



指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、接続するコンセントの電源容量に十分余裕があることを確認してください。火災・感電・故障の原因となります。

電源電圧：	AC100V
電源周波数：	50/60Hz
消費電力：	最大 130W



付属の電源コード以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。また、延長コードは加熱・発火の危険があるので使わないでください。

タコ足配線はしないでください。火災・加熱の原因となります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱させたり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）場合は、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。

近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

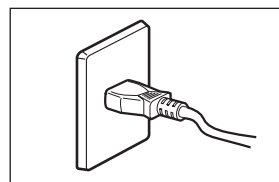
アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

アース線を接続してよいもの

- ・ コンセントのアース端子
- ・ 接地工事（D種）が行われているアース線

アース線を接続してはいけないもの

- ・ 水道管は配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
- ・ ガス管はガス爆発や火災の原因になります。
- ・ 電話線のアースや避雷針は落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因となります。



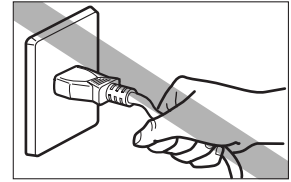


注意

アース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となります。長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

いつでも電源プラグを抜けるように、電源プラグの周りにはものを置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



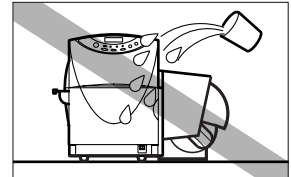
取扱い時の注意について



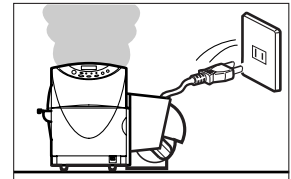
警告

大量のインク漏れを発見した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本機に水や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。万一、内部にこれらの液体が入った場合は、まず、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

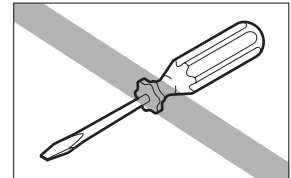


煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い上げの販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。

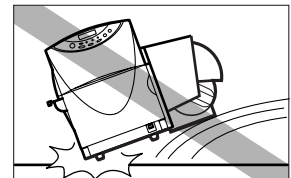


本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、本機を落としたり、破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本体内部の電気部品などに接触すると、火災・感電の原因になります。

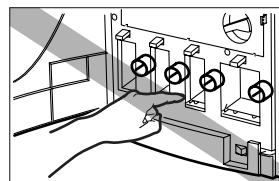
本機を清掃するときは、水または中性洗剤を含ませて硬く絞った布で汚れを落とした後、から拭きしてください。アルコール、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。本機のカバーは外さないでください。感電の恐れがあります。



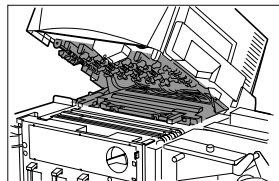


インクカートリッジ挿入部の奥には針部があり危険です。指を入れたりしないでください。けがや故障の原因となります。

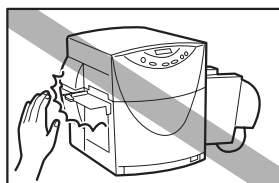
電源コードやケーブル、本体開口部、本体内部のギア・ベルト・ローラ・電気部品に子供が触れないように注意してください。けがや故障の原因となります。



ヘッド周辺（右図のグレー部分）に手を振れないように注意してください。故障やけがの原因となります。



ラベルカッターに手や顔をぶつけないように注意してください。けがの原因となります。

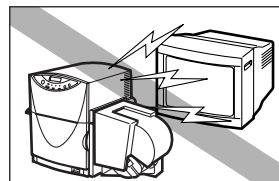


本機で印刷したラベルは、くだもの、野菜などの食品に直接貼らないようにしてください。食品などに貼る場合はラップ等の上に貼ってください。



テレビやラジオ、スピーカーなど、磁気の強いものの近くで使用しないでください。誤動作することがあります。また、テレビやラジオの近くで使用すると、電波受信を妨害することがあります。

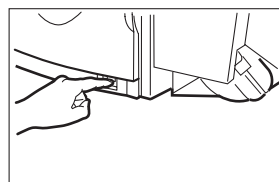
動作中に前ドアを開けたり、電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。故障の原因となります。



電源を切るときは、本機が停止し、節電モードになっていることを確認してからメイン電源スイッチを切ってください。

メイン電源スイッチを切った場合には、5秒以上の間隔を置いてからスイッチを入れてください。頻繁に電源スイッチの入/切を繰り返すと、故障の原因となります。

指定された温度・湿度で使用してください。暑すぎたり寒すぎたりすると本機が正常に動作しないことがあります。



設置環境： 15°C（湿度 10%）～ 30°C（湿度 80% 結露なきこと）

印刷したラベルやインクは、紫外線やオゾンにより褪色する場合があります。

移動時の注意について



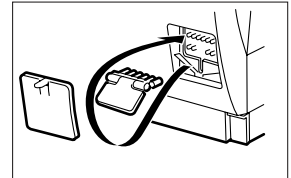
警告

長距離の輸送や振動の伴う輸送（自動車等）を行うときは、事前に販売店にご相談ください。必要な処置を行わずに輸送による振動、衝撃などを与えますと、機械に損傷を与え、火災・故障の原因となります。



禁止

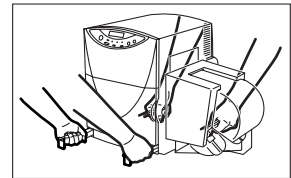
本機を輸送または移動するときは、本体背面にあるサブカバーを開けて、内部のキャップを上側の6穴にしっかり取り付けてください。輸送または移動後はキャップを下側の穴に戻してください。



注意

建物内で本機を移動させるときは、電源プラグをコンセントから抜き、他の接続線を外したことを確認の上、行ってください。

本機は34Kg以上の重量がありますので、必ず2名以上で移動させて下さい。持ち上げるときは、本体底部に収納されている4つのハンドルを引きだして、ハンドルを持つようにしてください。無理な体勢で持ち上げようとすると、落としてけがをしたり足腰などに障害を起こす原因となります。また、ロールユニットやラベルカッター部を持つと破損する恐れがあり、落としたりしてけがの原因となります。本機は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。

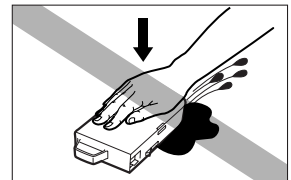


インクカートリッジの取扱いについて

保管の際は子供の手の届かない場所に保管してください。誤飲等の事故につながります。もし飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

インクカートリッジは、カラーラベルプリンタ専用のインクカートリッジをご使用ください。他のインクカートリッジを使用すると機械の故障や印字品位が低下することがあります。

インクカートリッジを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。内部にはインクが入っていますので、絶対に分解したり改造したりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。



使用済みのインクカートリッジは、カートリッジを包装していたビニル袋に入れ、使用場所における各都道府県の条例等に従って廃棄してください。

インクカートリッジは、1年を目安に交換することをおすすめします。また、使用していないカートリッジは使用するときまで開封しないで保管してください。

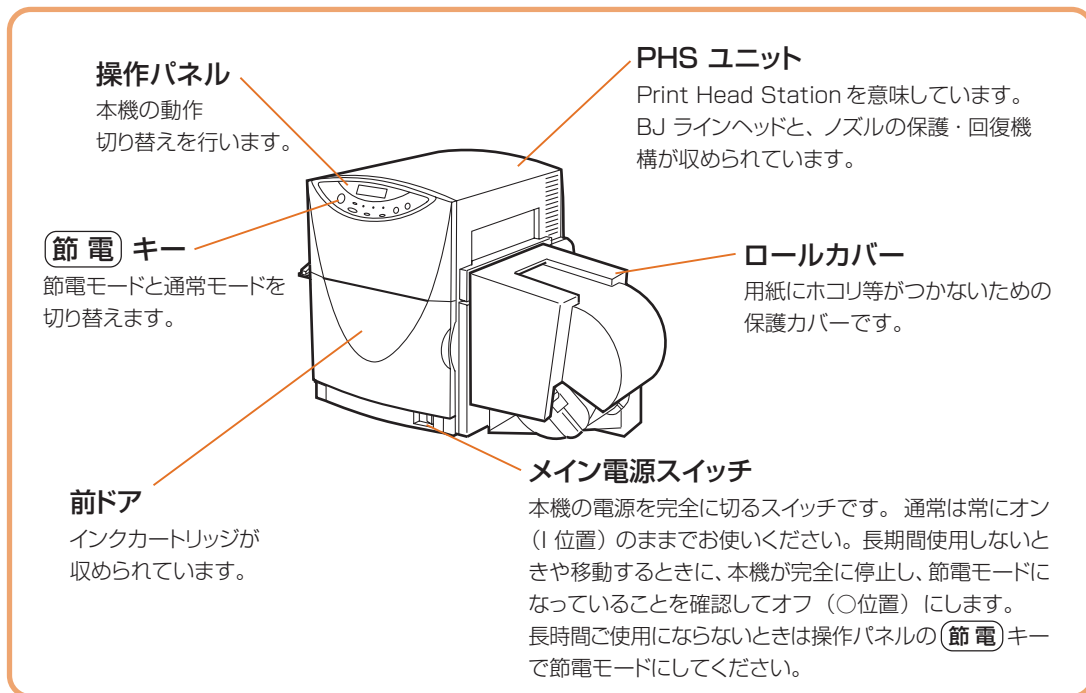
インクが目に入った場合は、直ぐに多量の流水で洗浄し、もし刺激が残るような場合には、医師の診断を受けてください。

インクが皮膚についた場合は、水と石けんでよく洗浄し、もし刺激が残るような場合には、医師の診断を受けてください。

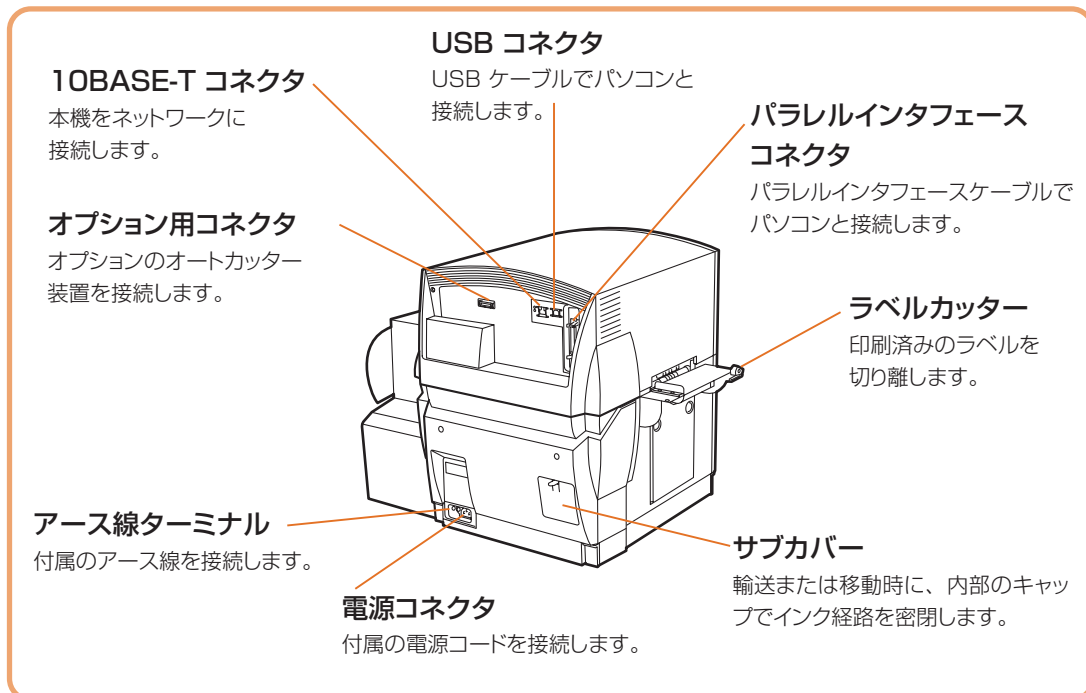
第1章 基本的な操作

1. 各部の名称と役割

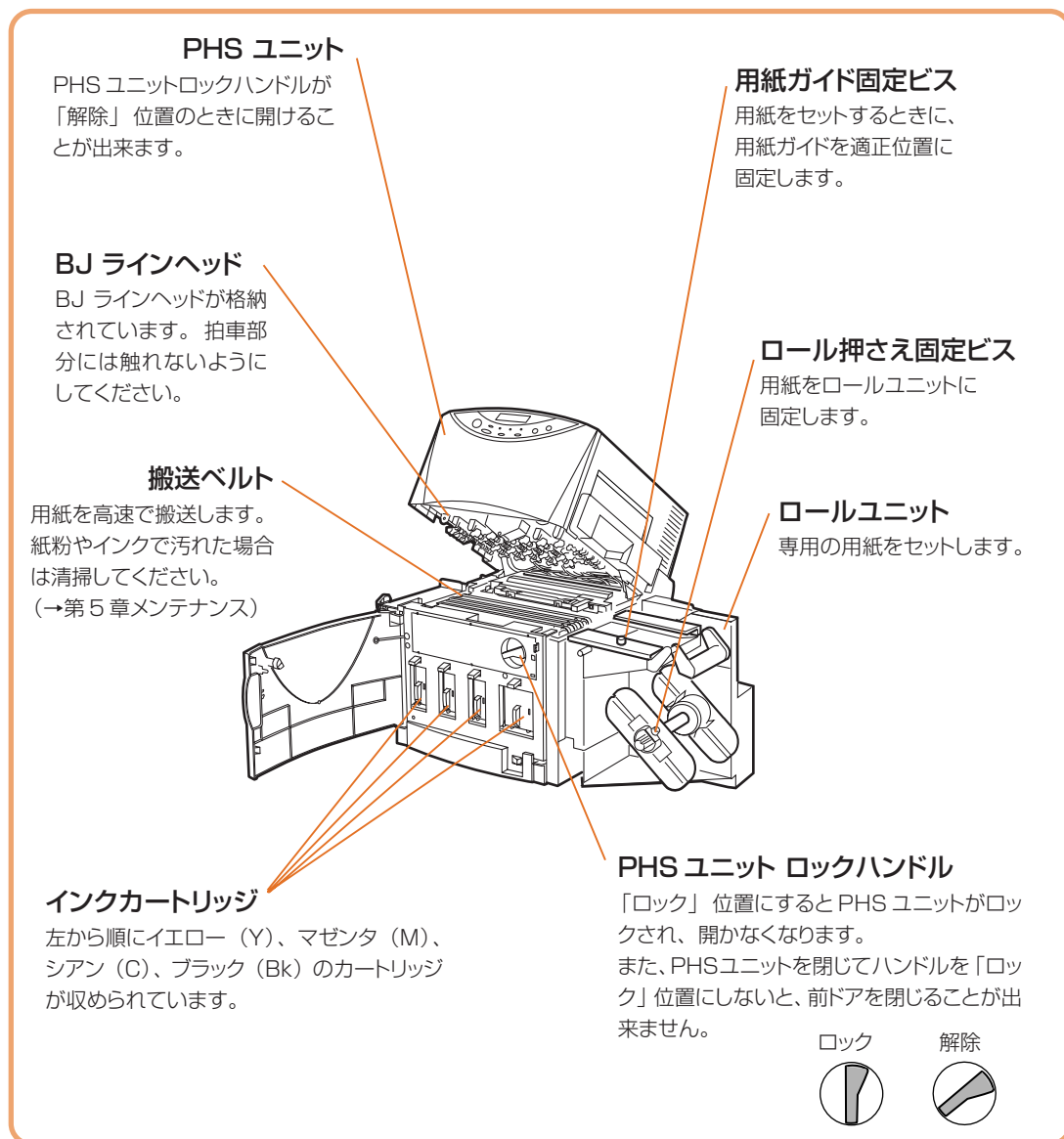
■ 正面



■ 背面



■ 本体内部



禁止

印刷中にメイン電源スイッチで電源をオフにすると、BJラインヘッドの保護が正常に行われなため故障の原因になります。

電源を完全に切る場合は操作パネルの **節電** キーを押して節電モードになったことを確認してからメイン電源スイッチをオフにしてください。

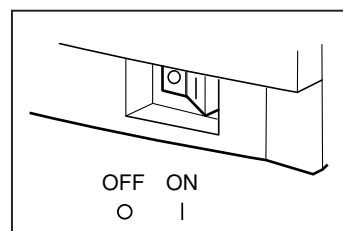
通常モードで「前ドア」を開けると、操作パネルにエラーメッセージが表示され、印刷が出来ない状態になります。

PHS ユニットはゆっくり開閉してください。無理な力を加えたり強い衝撃を与えると、故障の原因になったり印刷品質に悪影響を与えることがあります。

2. 電源の入れかた／切りかた

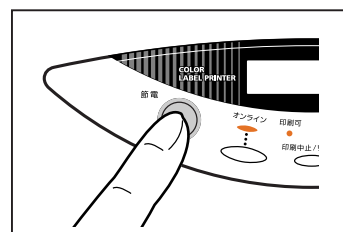
メイン電源スイッチ

本機の電源を完全に切るためのスイッチです。
通常はオン（I位置）のままで使用します。



節電キー

メイン電源スイッチがオンのときに押すと、通常モードと節電モードを切り替えることができます。
通常モードのときに1秒程度押すと、BJラインヘッドの保護動作が行われ、完了すると節電モードになります。節電モード中は印刷可ランプがゆっくりと点滅します。
節電モードのときに1秒程度押すと、BJラインヘッドのクリーニングが自動的に始まり、終了すると通常モードになります。通常モードでは、印刷可ランプが点灯します。



■ 電源の入れかた

メイン電源スイッチをオン（I位置）にすると自動的にクリーニングが始まります。
クリーニングが完了すると通常モードになって表示パネルに「インサツカノウ」と表示され、いつでも印刷できるようになります。
なお、節電モード（印刷可ランプがゆっくり点滅）中に通常モードにするには、**節電**キーを押してください。

■ 電源の切りかた

使い終わったら

節電キーを押して節電モードにしてください。節電モード中は、本体の消費電力を最小限に抑えます。
通常はメイン電源スイッチをオフにする必要はありません。

長期間使用しないときは

長期間使用しないときや移動するときは、本機の電源を完全に切ってください。
その際は、まず、**節電**キーを押して節電モードにし、表示パネルが消えて印刷可ランプがゆっくり点滅していることを確認します。それからメイン電源スイッチをオフ（O位置）にしてください。これで本機の電源が完全に切れます。



メモ

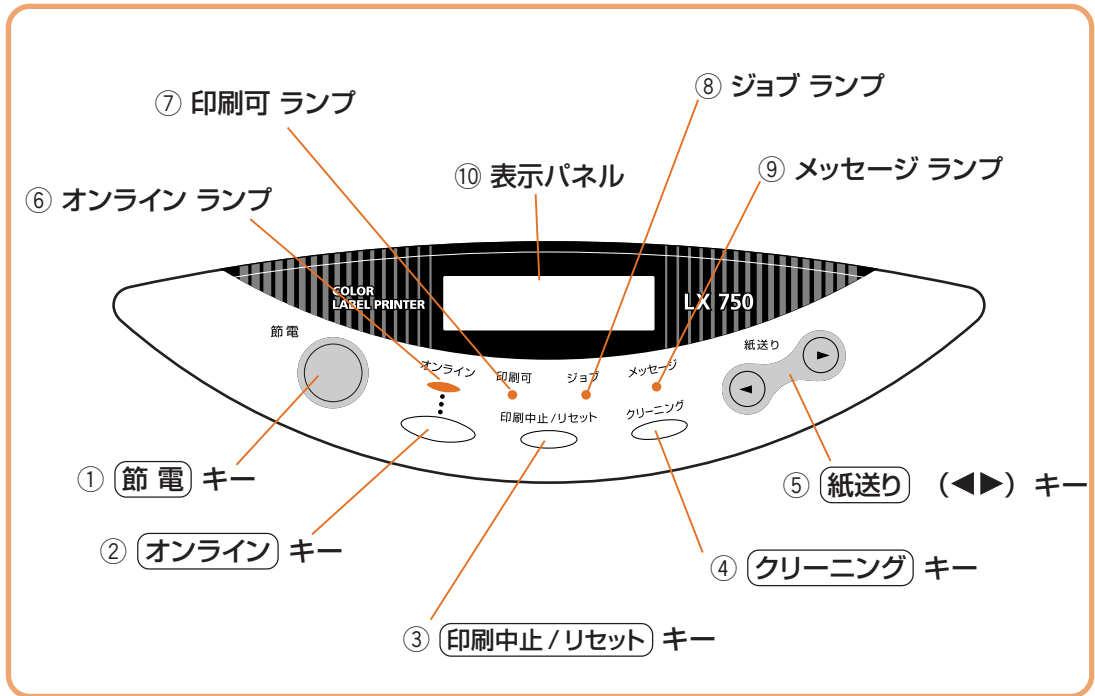
節電モードでも、パソコンからの印刷指示などがあると自動的にクリーニングが始まり、印刷できる状態（通常モード）になります。
また、プリンタドライバのプロパティの「ユーティリティ」を使用すると、パソコンからの操作で通常モードから節電モードに切り替えることができます。



禁止

印刷中にメイン電源スイッチで電源をオフにすると、BJラインヘッドの保護が正常に行わず故障の原因になることがあります。
電源を完全に切る場合は、操作パネルの**節電**キーを押して節電モードになったことを確認してからメイン電源スイッチをオフにしてください。
通常モードで「前ドア」を開けると、操作パネルにエラーメッセージが表示され、印刷が出来ない状態になります。

3. 操作パネルの使いかた



① 節電 キー

プリンタ本体のメイン電源スイッチがオンのときに押すと、通常モードと節電モードを切り替えることができます。

節電モードから1秒程度押すと電源が入り、クリーニング後印刷できる状態になります。

また、通常モードから1秒程度押すとBJラインヘッドが保護され、節電モードになります。節電モード時は印刷可ランプが点滅します。

② オンライン キー

押すたびに「オンライン状態」と「オフライン状態」が切り替わります。

オンライン状態

パソコンからの指示で印刷を行える状態です。オンラインランプが点滅または点灯します。

オフライン状態

パソコンからの指示や印刷データを受け付けられない状態です。オンラインランプが消灯します。

なお、印刷中に **オンライン** キーを押すと、それ以降パソコンからの印刷データを受け付けなくなり、印刷が一時的に止まります。再び **オンライン** キーを押すと、印刷が再開します。

③ 印刷中止/リセット キー

印刷中に押すと、ただちに印刷が中止され、印刷中のデータを破棄します。

また、オフライン状態で3秒間以上押すと、受信した印刷データを破棄します。

④ **クリーニング** キー

オフライン状態で押すと、BJラインヘッドのクリーニング処理が行われます。

印刷結果にスジ状の部分がある場合などにクリーニングを行うと効果があります。

また、印刷途中でクリーニングを行いたい場合は、**オンライン** キーを押して印刷を一時停止させてから、**クリーニング** キーを押してください。

クリーニング終了後、再び **オンライン** キーを押すと印刷が再開します。

⑤ **紙送り** (◀▶) キー

用紙を手動で送ったり、巻き戻したりする事が出来ます。

用紙をセットするときにも使用します。

⑥ **オンラインランプ** (緑色)

オンライン状態のときに点灯します。

点滅中は、オフライン移行中です。印刷が完了してからオフラインになります。

⑦ **印刷可ランプ** (緑色)

電源が入り、印刷できる状態のときに点灯します。

節電モードではゆっくり点滅します。

⑧ **ジョブランプ** (緑色)

印刷データ受信中に点滅します。

もし点灯している場合は、印刷を中断したときなどに本機に印刷データが残っていることを意味します。

⑨ **メッセージランプ** (オレンジ色)

本機にエラーが発生しているときに点灯し、同時に表示パネルにもエラーメッセージが表示されます。

⑩ **表示パネル**

本機の状態を表す様々なメッセージが表示されます。

■ オンラインとオフライン

押すたびに「オンライン状態」と「オフライン状態」が切り替わります。

オンライン状態 パソコンからの指示で印刷を行える状態です。オンラインランプが点滅または点灯します。

オフライン状態 パソコンからの指示や印刷データを受け付けられない状態です。オンラインランプが消灯します。

なお、印刷中に **オンライン** キーを押すと、それ以降パソコンからの印刷データを受け付けなくなり、印刷が一時的に止まります。再び **オンライン** キーを押すと印刷が再開します。

■ ストップとリセット

印刷中止/リセット キーには3つの機能があります。

緊急停止 印刷中に **印刷中止/リセット** キーを押すと、ただちに印刷が中止され、印刷中のデータを破棄します。

データを1つ消す 印刷中に **オンライン** キーを押すと印刷が一時停止し、オフライン状態になります。続いて **印刷中止/リセット** キーを短かく押すと、印刷中のデータが1つリセット（消去）されます。再び **オンライン** キーを押すと残りのデータの印刷が再開します。

データを全て消す オフライン状態で、**印刷中止/リセット** キーを3秒程度押し続けると、受信したデータや受信中のデータが全てリセット（消去）されます。

■ 紙送り キーの操作

オフライン状態のときに **紙送り** キーを押すと、用紙を任意の方向に送ることが出来ます。

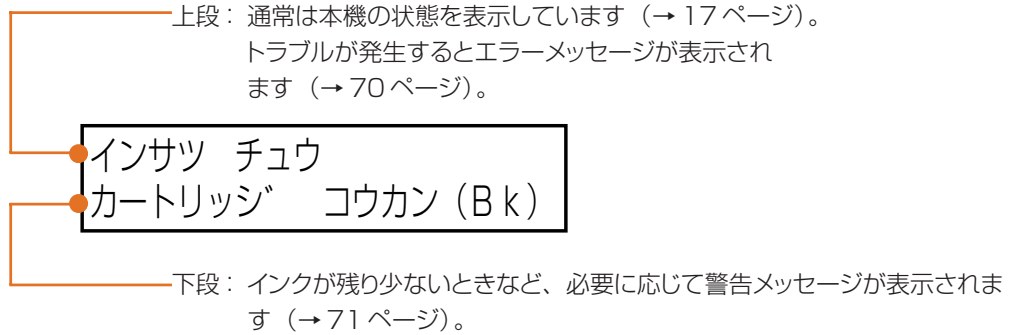
紙送り キー (◀) を短く押す PHSユニット入口のローラに突き当てられた用紙の先端を、PHSユニット内に送り込みます。用紙をセットするときに使います。

紙送り キー (◀) を1秒以上押す キーを押している間、用紙を排出方向に送ります。用紙のエンド処理をするときなどに使います。

紙送り キー (▶) を押す 用紙が入口方向に一定距離だけ戻されます。用紙を途中で交換するときなどに使います。

■ 表示パネル

表示パネルは、本機の動作状況を簡単なメッセージで伝えます。



複数の警告メッセージがあるときや、同時に複数のエラーが発生しているときは、1秒間ずつメッセージが入れ替わり表示されます。

●本機の状態を示すメッセージ

シヨキカ チュウ

電源をオンにしたときに、本機のクリーニング中に表示されます。同時に印刷ランプが点滅します。しばらくお待ちください。

インサツ カノウ

オンライン状態を表します。同時にオンラインランプが点灯します。印刷できる状態です。

オフライン

オフライン状態を表します。同時にオンラインランプが消灯します。印刷データを受け付けられない状態です。

インサツ チュウ

印刷中です。

インサツ PAUSE

オンライン キーを押して印刷を一時停止した状態です。この状態では次の操作を行えます。

オンライン キー 印刷を再開します。

印刷中止/リセット キー 印刷を終了します。

クリーニング キー クリーニングが行われます。

シャットダウ ショリ チュウ

節電 キーによって節電モードへ移行するときに表示されます。

ジ ユシン チュウ

パソコンから印刷データを受信中の状態です。同時にジョブランプが点滅します。

テンカイ チュウ

印刷データが本機にある状態です。同時にジョブランプが点灯します。

リセット

印刷中止/リセット キーによってデータをリセットしている状態です。

クリーニング チュウ

クリーニング中です。

4. 用紙のセットと交換

■ 用紙の種類

用紙はカラーラベルプリンタ専用紙を使用してください。

カラーラベルプリンタ専用紙以外の一般紙、インクジェット用紙を使用した場合、紙づまり、画像不良（定着不良、画像のにじみ、バーコード品質不良など）など、プリンタの性能を維持できないことがあります。また、故障の原因となります。

以下の用紙は、専用紙の中の一部です。

詳細については、LX 750 のカタログをお読みください。

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| マットコート紙 | 一般の上質紙に対応した無光沢の用紙で本プリンタの標準紙です。 |
| 光沢紙 | 一般のキャスト紙に対応した光沢度 75%以上を有する用紙です。 |

■ 用紙のセット

用紙は次の手順でセットしてください。

1

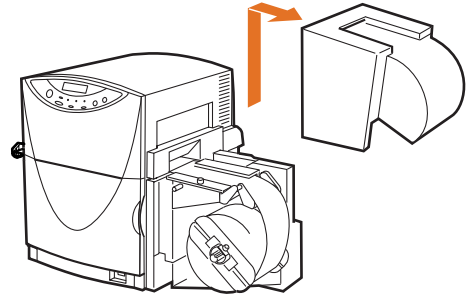
オンライン キーを押します。

表示パネルに“オフライン”と表示されます。

オフライン

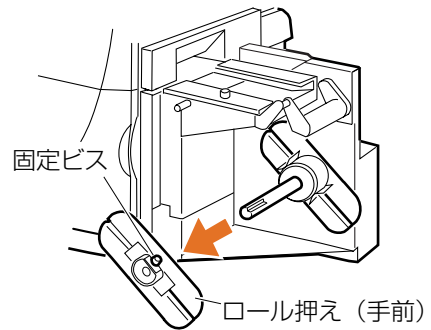
2

ロールカバーを上方に持ち上げて取り外します。



3

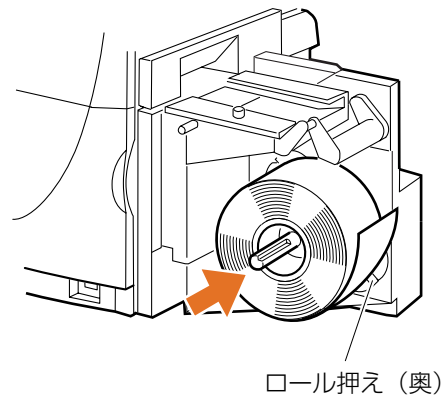
ロール押え（手前）の固定ビスをゆるめ、ロール押えを取り外します。



4

用紙を巻き取り軸にセットします。

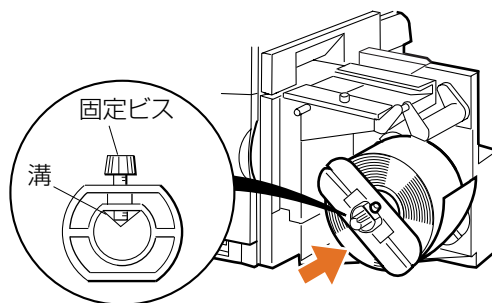
用紙の芯が、確実にロール押え（奥）にはめこまれるようにセットしてください。



5

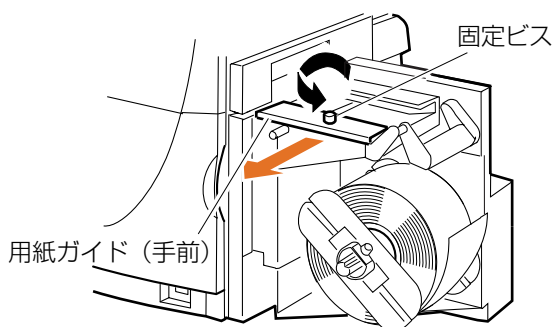
ロール押え（手前）を巻き取り軸にセットし、用紙に軽く押し付けながら固定ビスを締め付けます。

ロール押えは、固定ビスと巻き取り軸の溝を合わせるようにしてセットしてください。



6

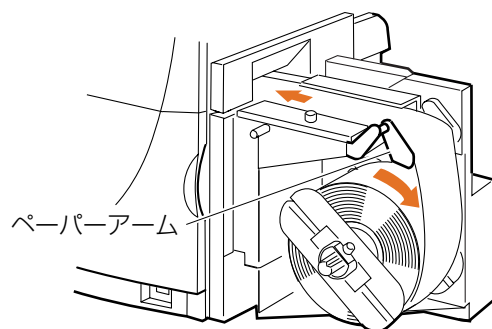
用紙ガイド（手前）の固定ビスを緩め、用紙ガイドを手前に止まるまで動かします。



7

用紙を引き出し、ペーパーアームの上を通してから用紙ガイドの間に用紙をセットします。

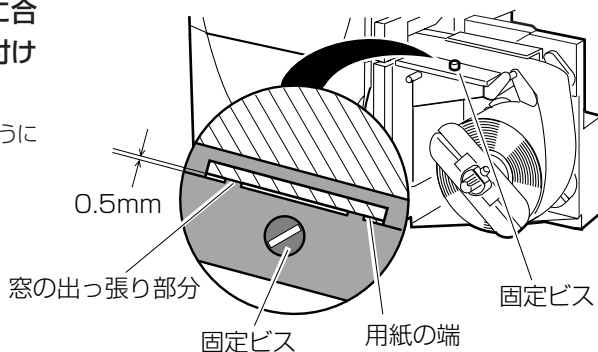
用紙に大きなたるみがあるとロールカバーと干渉しますので、用紙を巻いて適度にたるみを取ってください。



8

用紙ガイド（手前）を用紙の幅に合わせて移動し、固定ビスを締め付けます。

窓の出っ張り部分程の余裕を持たせるように用紙ガイドの位置を決めてください。



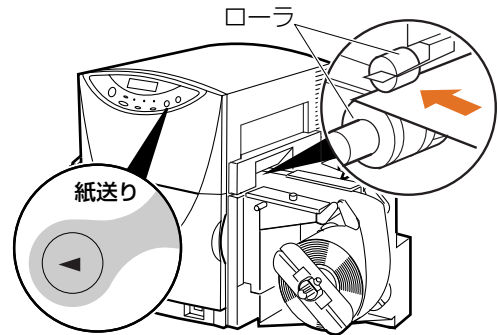
9

用紙の先端を奥のローラに突き当てながら **紙送り** キー (◀) を短く押します。

用紙の先端がPHSユニット内に送り込まれます。

用紙が送り込まれないときは、用紙の先端がローラに接触していることを確認して同じ操作を繰り返してください。

なお、**紙送り** キー (◀) を1秒以上押し続けると、用紙が連続して送られますので、ご注意ください。



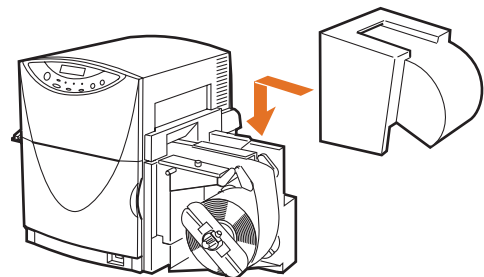
メモ

用紙の先端が確実に奥のローラに突き当てられていれば、**紙送り** キー (◀) を押さなくても印刷データを受信したときに用紙はPHSユニット内に送り込まれます。

10

ロールカバーをセットします。

オンライン キーを押してオンライン状態にしてください。



メモ

用紙がうまくセットされていなかった場合、印刷を開始した時点で表示パネルに“ヨウシ セット テンケン”というメッセージが表示され、印刷が中断します。その場合は、用紙を正しくセットしなおして **オンライン** キーを押してください。エラーが解除され、印刷が開始されます。



禁止

ロールカバーを外したままで印刷しないでください。

用紙はカラーラベルプリンタ専用紙を使用してください。専用紙以外の用紙を使用すると、にじみやかすれが生じたり、プリンタ本体に悪影響を与え故障の原因となることがあります。

用紙を保管する場合は、用紙の変色等を防ぐために付属のビニール袋の中に入れ、直射日光に当たらない場所に保管してください。また、開封した用紙は、できるだけ短期間で使い切ることをおすすめします。

カラーラベルプリンタ専用紙各々の印字可能領域外には、印刷しないでください。

(45 ページ 用紙サイズを登録する)

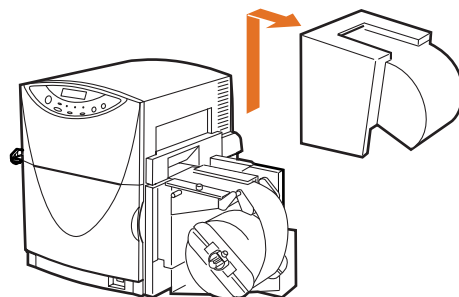
実際にセットした用紙と、プリンタドライバに設定されている用紙が、同じ用紙 (サイズ) に設定されていることを確認してください。

■ 用紙の交換

用紙は、以下の方法で交換してください。

1

ロールカバーを上方に持ち上げて外します。



2

表示パネルに「インサツカノウ」と表示されている場合は、**オンライン**キーを押します。

表示パネルに「オフライン」と表示されます。

3

操作パネルの**紙送り**キー(▶)を押して、用紙を本体内からロールに戻してください。

4

新しい用紙をセットします。

用紙のセット方法については19ページを参照してください。



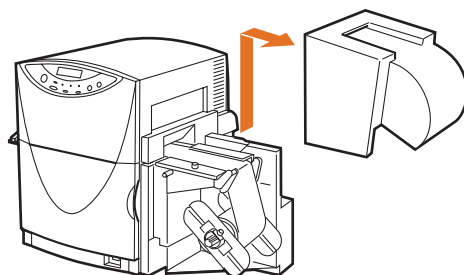
メモ

印刷途中で用紙を交換する場合は、それまで使用していたものと同一サイズの用紙にしてください。異なった用紙をセットするとエラーの原因になります。

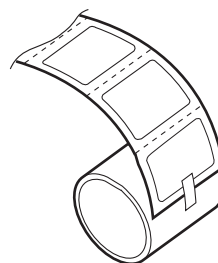
■ 用紙のエンド処理

用紙を使い終ると、「ヨウシガ アリマセン」と表示されます。
印刷を続けるには、次の手順で新しい用紙をセットしてください。

- 1** ロールカバーを上方に持ち上げて外します。



- 2** 用紙の最後は巻芯にテープ止めされていますので、テープをはがします。



- 3** 操作パネルの **紙送り** キー (◀) を1秒以上押し続けて、用紙を本体内から排出させてください。

- 4** 新しい用紙をセットします。
用紙のセット方法については19ページを参照してください。

- 5** 操作パネルの **オンライン** キーを押してオンライン状態にします (→13ページ)。

■ ラベルカッターの使いかた

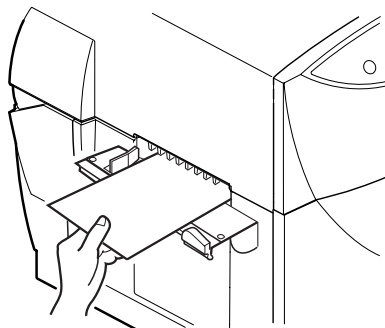
ラベルを印刷後、ラベルカッターでラベルを切り離します。



ラベルカッターに手や顔をぶつけないように注意してください。けがの原因となります。また、ラベルの印刷が終了したことを確認してから切り離すようにしてください。

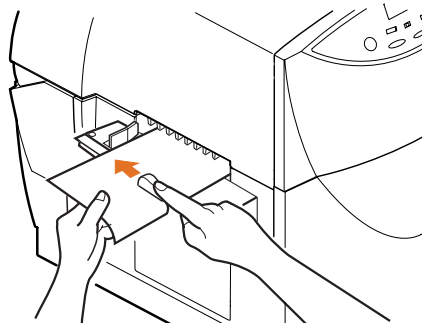
1

印刷されたラベルを図のように持ちます。



2

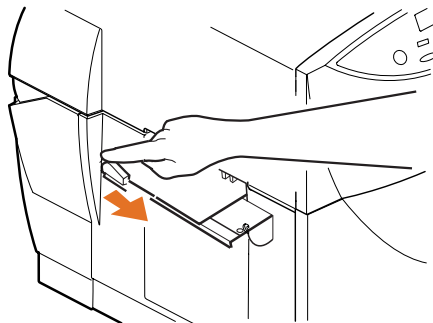
カッターを図のように軽く抑えるようにしてラベルを切り離します。



3

カッターを元の位置に戻します。

カッターは途中の位置にあると紙ぶまりの原因となりますので、必ず元の位置に戻してください。



メモ

カッターの切れ味が著しく落ちたときは、分解等せずにお買い求めの販売店までご連絡ください。

第2章 印刷操作

印刷を行うときの一般的な操作手順を説明します。

1. 印刷の準備

印刷する内容（印刷データ）が決まったら、次の手順で本機の印刷準備を行います。

1

電源がオンになっていることを確認
します（→ 12 ページ）。

印刷可ランプが点灯し、「インサツカノウ」と
表示されていることを確認してください。

インサツ カノウ

2

オンライン キーを押してオフライ
ン状態にします（→ 13 ページ）。

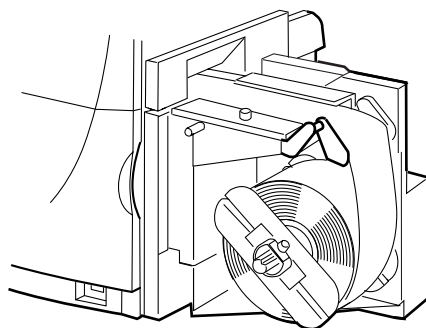
オンラインランプが消えて、「オフライン」と
表示されていることを確認してください。

オフライン

3

用紙をセットします。

用紙のセット方法については 19 ページを参
照してください。



4

オンライン キーを押してオンライ
ン状態にします（→ 13 ページ）。

オンラインランプが点灯し、「インサツカノウ」
と表示されていることを確認してください。

インサツ カノウ

2. 印刷の開始

Windowsの一般的なアプリケーションを使って印刷するときの手順を説明します。ここでは最小限必要な設定だけを行って印刷する場合の操作を説明しますので、各種の詳細設定方法については「第3章 プリンタドライバの使いかた」（→30ページ）をお読みください。

1

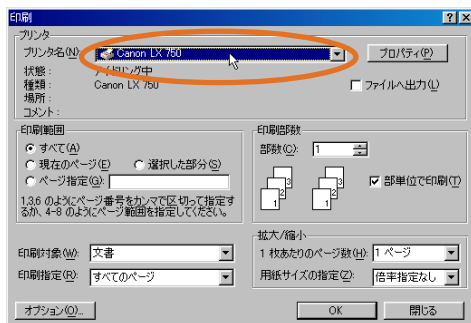
アプリケーションの【ファイル】メニューで【印刷】をクリックします
アプリケーションの【印刷】ダイアログボックスが表示されます。



2

【プリンタ名】から「Canon LX 750」を選択します

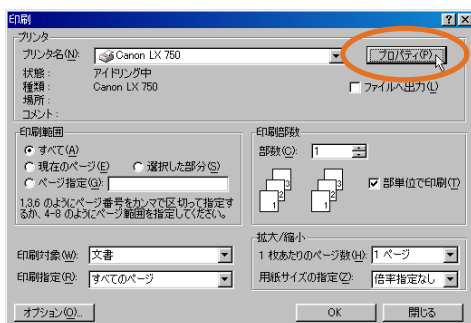
【印刷】ダイアログボックスの内容は、アプリケーションによって異なりますし、呼び出し方法も同じではありません。詳しくは各アプリケーションの取扱説明書をお読みください。



3

用紙サイズなどを設定するときは【プロパティ】ボタンをクリックします。

【Canon LX 750のプロパティ】が表示されます。



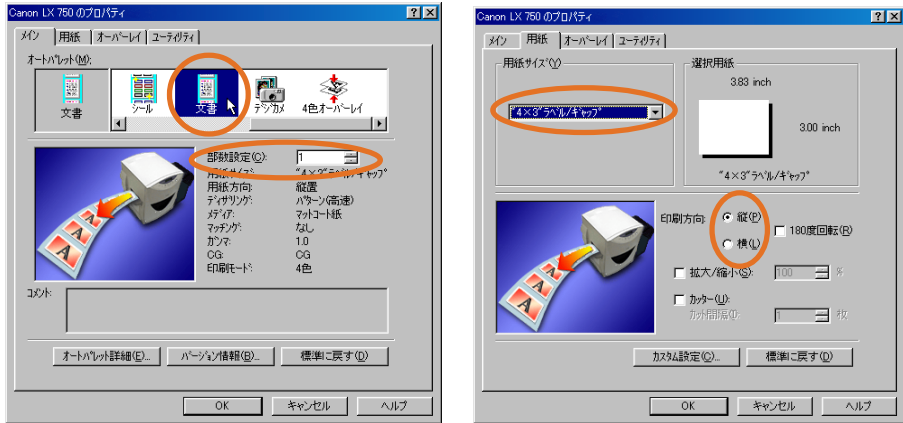
4

必要に応じて用紙サイズや印刷方向などの項目を設定します。

● Windows 98/95 の場合

[メイン] タブでは印刷データの種類に合った「オートパレット」のアイコンを選び、「部数」を設定します。

[用紙] タブでは使用する用紙サイズと印刷方向を選択します



● Windows NT の場合

[オートパレット] タブで印刷データの種類に合ったアイコンを選びます。

[ページ設定] タブでは [用紙] の項目を + をクリックして開き、使用する用紙サイズと印刷方向、部数を設定します



5

[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じ、[印刷] ダイアログボックスで [OK] ボタンをクリックして印刷を開始します。



メモ

プロパティでは少なくとも次の項目について正しく設定してください。

- ・ [部数] 同じ画像を複数枚印刷するときに設定します。
アプリケーションによっては [印刷] ダイアログボックスで設定できますが、その場合は印刷速度が低下することがあります。
- ・ [用紙サイズ] 実際に使用する用紙と同じサイズの用紙を選択します。
- ・ [印刷方向] 用紙に対する画像の向きを選択します。

3. 印刷の中止

パソコンから印刷しているときに印刷を途中で中断するときは、プリンタ側の中断操作に加えて、パソコン側でも印刷中断の操作を行ってください。

■ 印刷を一時的に止めるには

印刷結果の途中確認などのために印刷を一時的に止めるときは、操作パネルの **（オンライン）** キーを押してください。印刷中の用紙があるときは、最後まで印刷してから排出して停止します。もう一度 **（オンライン）** キーを押すと印刷を再開します。

なお、一時停止中はオフラインのままですので、パソコン側では何も操作する必要はありません。ただし、パソコンから大量の印刷データを送っているときに長時間一時停止していると、印刷処理が進まないためにパソコン側で「タイムアウトエラー」のメッセージが表示される場合があります。この場合は、「再試行」を選択してください。

一時停止中に印刷を完全に中断するときは、次の「印刷を完全に中断するには」の操作を行ってください。

■ 印刷を完全に中断するには

印刷を完全に中断するときは、先にパソコン側で印刷中止の操作を行います。

スタートメニューで「設定」の「プリンタ」をクリックし、「プリンタ」フォルダで「Canon LX 750」をダブルクリックします。

印刷中のドキュメントがリスト表示されますので、中止するドキュメントを選んでから [ファイル] メニューの [印刷中止] をクリックしてください。

上記の操作を行うとパソコン側の印刷処理が終了し、本機のジョブランプが点灯したままになります。**（印刷中止/リセット）** キーを3秒間以上押して受信した印刷データをリセットしてください。



メモ

すぐに印刷を止めたいときは **（印刷中止/リセット）** キーを押してから上記の操作を行ってください。ネットワーク環境でご使用の場合、ご使用中のパソコン側で印刷中止ができないことがあります。その際は、ネットワーク管理者にネットワーク上での権限をご確認ください。



禁止

印刷中にメイン電源スイッチで電源をオフにすると、BJラインヘッドの保護が正常に行われなため故障の原因となります。

通常、電源をオフにする場合は操作パネルの **（節電）** キーを押して、節電モードにしてから、メイン電源スイッチをオフにしてください。

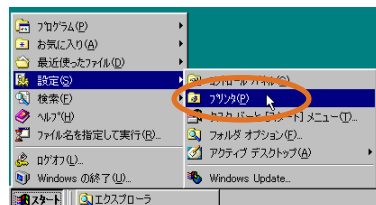
第3章 プリンタドライバの使いかた

通常、プリンタドライバの設定は、使用するアプリケーションでプリンタのプロパティを表示して必要な項目を設定します。(→26 ページ「印刷の開始」)

使用する用紙や印刷方法が常に決まっているときなどには、Windowsの[プリンタ]フォルダからプリンタドライバのプロパティを表示し、基本的な項目を設定しておいた方が便利です。

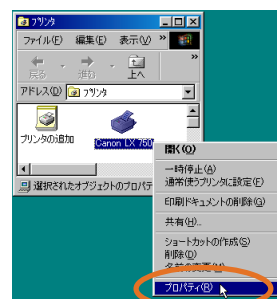
1 [スタート]メニューで[設定]-[プリンタ]を選択します。

[プリンタ]フォルダが表示されます。



2 「Canon LX 750」を右クリックし、[プロパティ]を選択します。

プロパティが表示されます。



1. プリントドライバの機能

■ Windows 98/95 のプロパティ

Windows 98/95 では、アプリケーションから表示したプロパティと同等のプロパティが表示されます。ここで設定した内容はすべてのアプリケーションに対して共通に適用されます。

[メイン]、[用紙]、[オーバーレイ]、[ユーティリティ] の4つのタブで本機特有の印刷機能について設定します。

【メイン】 タブ

印刷データの内容に合ったオートパレットの選択 (33 ページ)、印刷部数の設定 (34 ページ) を行います。

オートパレットの内容を変更して登録しておくこともできます。(39 ページ)。

【用紙】 タブ

用紙に関する設定を行います。

- ・用紙サイズの選択 (41 ページ)、
- ・印刷の向きを選択 (42 ページ)、
- ・拡大／縮小印刷の設定 (43 ページ)、
- ・カット間隔の設定 (44 ページ)。

【オーバーレイ】 タブ

背景や罫などをあらかじめ用意しておき、印刷時に文字や画像と合成して印刷することができます (48 ページ)。

【ユーティリティ】 タブ

パソコンからの操作でプリンタのメンテナンスを行います (50 ページ)。



× モ

[全般]、[詳細]、[色の管理]、[共有] タブでは、Windows から本機を制御するための基本的な設定を行います。詳しくはプリンタドライバ付属の README.TXT ファイルや Windows のヘルプ等をご覧ください。

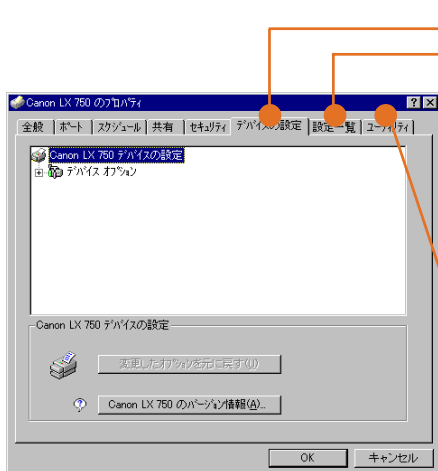
■ Windows NT のプロパティ

Windows NTでは、アプリケーションから表示した場合（ドキュメントプロパティ）と [プリンタ] フォルダから表示した場合（プリンタプロパティ）では内容が異なります。

【プリンタ】フォルダから表示した場合（プリンタプロパティ）

ここで設定した内容はすべてのアプリケーションに対して適用されます。

【デバイスの設定】、【設定一覧】、【ユーティリティ】タブで本機特有の印刷機能について設定します。



【デバイスの設定】 タブ

本機のオプション機器の有無を設定します (44 ページ)。

【設定一覧】 タブ

オートパレットアイコンの設定内容を変更したり、新しいオートパレットアイコンを登録します (39 ページ)。

【ユーティリティ】 タブ

パソコンからの操作でプリンタのメンテナンスを行います (50 ページ)。

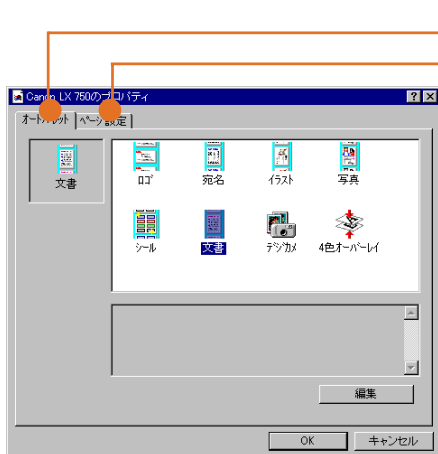


メモ

【全般】、【ポート】、【スケジュール】、【共有】、【セキュリティ】タブではWindowsから本機を制御するための基本的な設定を行います。詳しくはプリンタドライバ付属のREADME.TXTファイルやWindowsのヘルプ等をご覧ください。

アプリケーションから表示した場合（ドキュメントプロパティ）

ここで設定した内容は、開いたアプリケーションに対して適用されます。



【オートパレット】 タブ

印刷データの内容に合わせてオートパレットアイコンを選びます (33 ページ)。

【ページ設定】 タブ

用紙と印刷方法に関する設定を行います。

- ・印刷部数 (34 ページ)、
- ・用紙サイズの選択 (41 ページ)、
- ・印刷の向きを選択 (42 ページ)、
- ・拡大／縮小印刷の設定 (43 ページ)、
- ・カット間隔の設定 (44 ページ)、
- ・オーバーレイ印刷の設定 (48 ページ)。

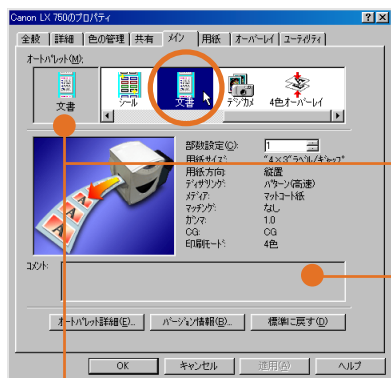
2. 【メイン】 タブの設定

■ オートパレット

オートパレットには、あらかじめ代表的な印刷設定が登録されていますので、印刷データや紙質に合ったアイコンを選ぶだけで、最適な印刷品質を得ることができます。

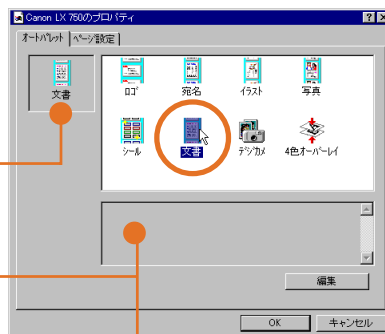
Windows NT ではドキュメントプロパティの [オートパレット] タブで選択します。

Windows 98 / 95 の場合



選択されているオートパレットのアイコンが表示されます。
 なお、オートパレットのプロパティが変更されている場合は、アイコンの名前が「〇〇から変更」となります。

Windows NT の場合



選択されているオートパレットのコメントが表示されます。

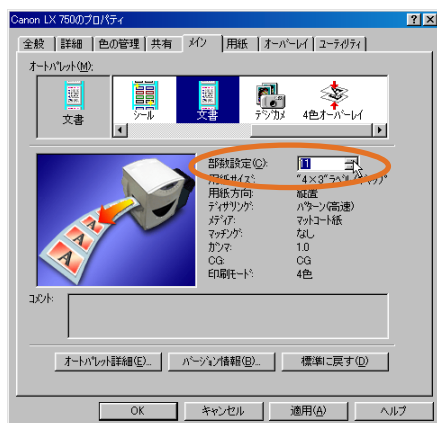
オートパレットの設定内容は目的に応じて任意に変更することができます。
 また、設定した内容を好きなアイコンで登録しておくこともできます。

■ 印刷部数の設定

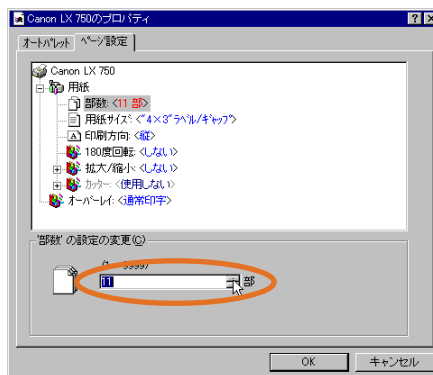
同じ画像を複数枚印刷するときは、印刷枚数を「部数」に設定します。

Windows 98/95では「メイン」タブ、Windows NTではドキュメントプロパティの「ページ設定」タブで「用紙」 - 「部数」をクリックして選択します。1～9999の範囲内で設定することができます。

Windows 98 / 95 の場合



Windows NT の場合



アプリケーション側にも印刷部数を設定できる場合があります。この場合、アプリケーション側で設定すると印刷が遅くなる場合があります。

■ オートパレットのプロパティ

オートパレットの設定内容を確認したり設定変更する場合は、対象のアイコンを選んでから [オートパレットのプロパティ] を表示します。Windows 98/95 では [オートパレット詳細] ボタン、Windows NT では [編集] ボタンをクリックします。

Windows 98 / 95 の場合



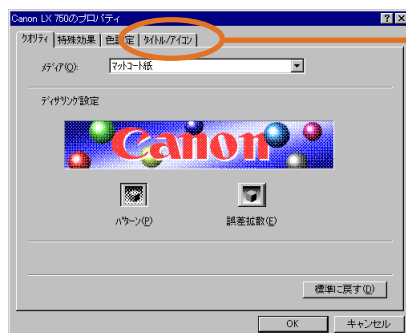
Windows NT の場合



各タブで設定できる内容

- [クオリティ] 総合的な画質を決めます。(→ 36 ページ)
- [特殊効果] 速度と画質のバランス、およびモノカラー印刷を指定できます。(→ 36 ページ)
- [色設定] カラーバランスと濃度を調整できます。(→ 37 ページ)
- [設定登録] 設定内容を登録します。(→ 39 ページ)

Windows NT でオートパレットの設定内容を登録するには、プリンタプロパティからオートパレットのプロパティを開き、[設定一覧] タブを選択して [編集登録] をクリックすると次のオートパレットのプロパティが表示されます。



[タイトル/アイコン] タブで設定内容の登録を行うことができます。

● **【クオリティ】 タブ**

[メディア] 使用する用紙の紙質に合わせて [マットコート紙]、[光沢紙]、[強光沢紙] から選択します。



メモ

マットタグ紙をご使用の場合は、[強光沢紙] を選択してください。

[デザイン設定]

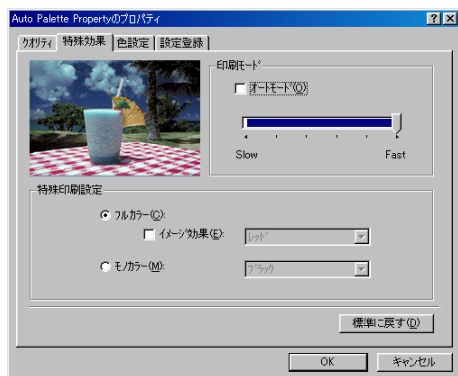
本機はすべての色を基本色（YMCK およびその組み合わせで可能な RGB）のドット（点）の集合で表現します。このときの表現方式を選択します。

[パターン] 文字やイラスト、写真などが混在する画像を印刷するのに適した処理を行います。

[誤差拡散] 中間調を多階調で表現し、さらに階調の変化を滑らかなパターンに展開して印刷します。印刷処理の速度は遅くなりますが、写真などの自然画像を美しく印刷します。

[標準に戻す] 変更した内容を破棄し、現在のオートパレットに登録されている内容に戻します。

● **【特殊効果】 タブ**



[印刷モード] [オートモード] をチェックすると、印刷データの内容やパソコンの処理速度に応じて、自動的に最もスムーズな印刷速度に変化します。ただし、オーバーレイ印刷で印刷速度が変化する場合には、一時停止、バックフィード動作を行った後で印刷が再開されます。

チェックを外すと、下のスライドつまみで印刷速度を 50mm/秒、60mm/秒、70mm/秒、80mm/秒、90mm/秒、100mm/秒の 6 段階に調節できます。

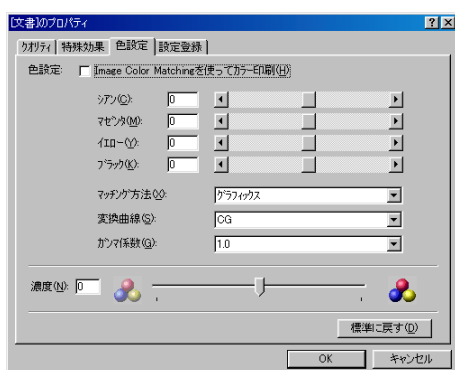
[特殊印刷設定]

[フルカラー] 画像をフルカラー、または効果的なモノカラー調にして印刷します。
モノカラー調にするときは [イメージ効果] にチェックし、右側のプルダウンメニューからお好みの色を選択します。

[モノカラー] 画像を特定のインクだけでモノカラー印刷します。
モノカラー印刷するときには、右側のプルダウンメニューからお好みのインク色を選択します。
シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックが用意されています。

[標準に戻す] 変更した内容を破棄し、現在のオートパレットに登録されている内容に戻します。

● [色設定] タブ



[Image Color Matching を使ってカラー印刷]

チェックすると Windows Image Color Matching を使用してカラー調整を自動的に行います。他の調整項目は設定できなくなります。なお、この機能を使用するためには、あらかじめICCプロファイルをパソコンに取り込んでおく必要があります。また、アプリケーションも Image Color Matching に対応している必要があります。

ICC プロファイルの取り込み方：

付属の [プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM] を CD-ROMドライブにセットします。

プロパティの [色の管理] タブで [追加] をクリックしファイルの場所を CD-ROMドライブに指定して、Win95-98 フォルダを開きます。

ICC プロファイル [CAI6x0C.ICC] を選択して [追加] をクリックし、[OK] をクリックしてください。

[シアン (C)] [マゼンタ (M)] [イエロー (Y)] [ブラック (BK)]

スライドつまみで各インク色の強さを -50 ~ +50 の範囲内で調節します。

[マッピング方法]

カラー補正の傾向を選択します。

[写真] 肌色、空色、緑色など、一般的な写真画像に多い中間色を繊細に表現します。

[グラフィックス] 赤、青、黄などの原色を鮮やかに印刷します。

[なし] カラー補正をせずに印刷データをそのまま印刷します。

- [変換曲線] 印刷データのカラー傾向に合わせてカラー補正します。印刷データを作成した装置を選択してください。
- [CG] 印刷データのカラー情報を正確に印刷します。
YMCKのパーセント指定や色見本で指定されたデータを印刷するときに選択します。赤、青、黄などの原色を鮮やかに印刷します。
- [スキャナ] スキャナで取り込んだ画像を、元の原稿に近い色で印刷します。
- [ビデオ] ビデオカメラで撮影した画像を元の被写体に近い色で印刷するときや、画像をディスプレイに表示したときの色に近い色で印刷するときに選択します。
- [デジカメ] デジタルカメラで取り込んだ画像を、元の被写体に近い色で印刷します。
- [ガンマ係数] 画像のカラー調整に使用しているディスプレイのガンマ係数を選択します。
1.0、1.4、1.8、2.2の4段階から選択します。
- [濃度] スライドつまみで画像濃度を-50～+50の範囲内で調整します。
- [標準に戻す] 変更した内容を破棄し、現在のオートパレットに登録されている内容に戻します。

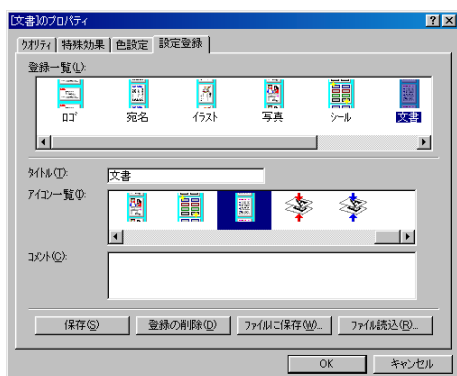
■ オートパレットの登録

オートパレットに設定した内容を登録しておくことができます。

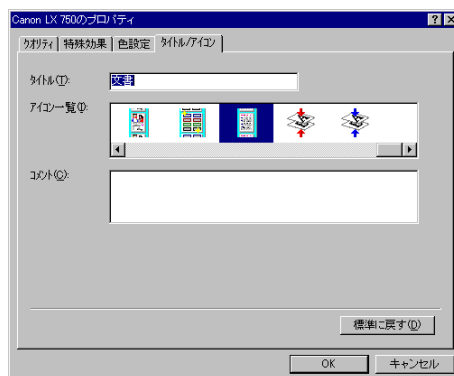
Windows 98/95 では [設定登録] タブを表示します。

Windows NT でオートパレットの設定内容を登録するには、プリンタプロパティで [設定一覧] を選択し、[編集登録] をクリックしてオートパレットのプロパティを表示します。ここで [タイトル/アイコン] タブを表示してください。

Windows 98 / 95 の場合



Windows NT の場合



[登録一覧] Windows 98/95 の場合は、まず [登録一覧] から登録先を選ぶことができます。ただし、始めから用意されているオートパレットには登録できません。

[タイトル] オートパレットにつける名前を入力します。
始めから用意されているオートパレット名には登録できませんので、新しい名前を付けてください。
(半角で 31 文字まで入力できます)

[アイコン一覧]
オートパレットにつけるアイコンを選択します。

[コメント] オートパレットの説明を入力しておきます。
(半角で 255 文字まで入力できます)



メモ

オートパレットのアイコンの順番を変更したい場合は、移動させたいアイコンをドラッグして移動させます。

ここで保存した設定内容は、使用中のパソコンにのみ保存されます。別のパソコンや複数の LX 750 プリンタドライバがインストールされている場合は、ここでの設定内容は反映されません。

Windows 98/95 で登録／削除するには

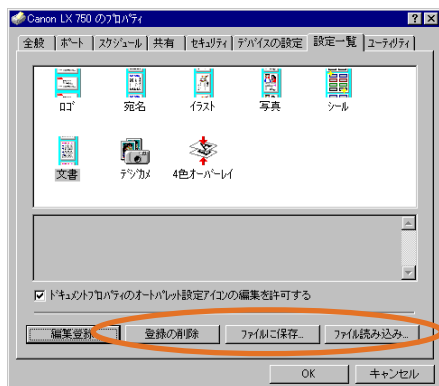
- [保存] 現在のオートパレットを新たに登録します。
作成済みのオートパレットと同じタイトルの場合、そのオートパレットの内容が更新されます。
- [登録の削除] [登録一覧] で選択したオートパレットを削除します。
- [ファイルに保存]
[登録一覧] で選択したオートパレットの情報を、任意のフォルダにファイルとして保存します。
始めから用意されているオートパレットは保存できません。
- [ファイル読込]
保存されているオートパレットのファイルを読み込みます。

Windows NT で登録／削除するには

- [標準に戻す] 変更した内容を破棄し、現在のオートパレットに登録されている内容に戻します。
- [OK] 現在のオートパレットの内容を登録します。
作成済みのオートパレットと同じタイトルの場合、そのオートパレットの内容が更新されます。



オートパレットの削除、および、ファイルへの保存とファイルからの読み込みは、プリンタプロパティの[設定一覧]タブで行います。



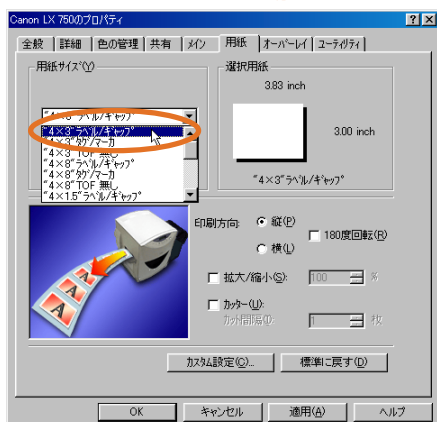
3. [用紙] タブの設定

印刷を始めるときは、あらかじめプリンタのプロパティで用紙のサイズや印刷方向などを設定してから印刷を開始してください。

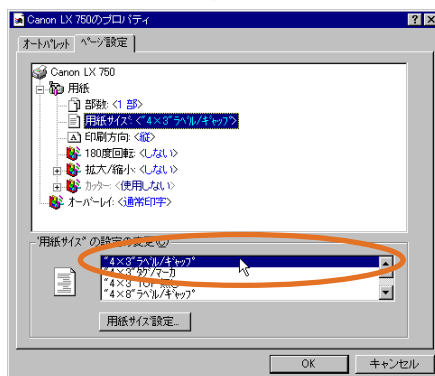
■ 用紙サイズの設定

用紙サイズは、Windows 98/95では [用紙] タブ、Windows NTではドキュメントプロパティの [ページ設定] タブで [用紙] - [用紙サイズ] をクリックして選択します。あらかじめ次の17種類の用紙サイズが登録されていますので、実際に使用する用紙と同じサイズを [用紙サイズ] ドロップダウンリストから選択してください。

Windows 98 / 95 の場合



Windows NT の場合



用紙サイズの名称	サイズ (幅×長さ) mm	余白量 mm				印字可能範囲 mm
		上余白	下余白	左余白	右余白	
"4 × 3"ラベル/ギャップ	97.3 × 76.2	2.5	2.0	3.5	3.8	90.0 × 71.7
"4 × 3"タグ/マーカ	101.6 × 76.2	2.7	2.5	3.5	3.5	94.6 × 71.0
"4 × 3"TOF無し	101.6 × 76.2	3.3	3.0	3.5	3.5	94.6 × 69.9
"4 × 8"ラベル/ギャップ	97.3 × 203.2	2.5	2.0	3.5	3.8	90.0 × 198.7
"4 × 8"タグ/マーカ	101.6 × 203.2	2.7	2.5	3.5	3.5	94.6 × 198.0
"4 × 8"TOF無し	101.6 × 203.2	3.3	3.0	3.5	3.5	94.6 × 196.9
"4 × 1.5"ラベル/ギャップ	97.3 × 38.1	2.5	2.0	3.5	3.8	90.0 × 33.6
"4 × 1.5"タグ/マーカ	101.6 × 38.1	2.7	2.5	3.5	3.5	94.6 × 32.9
"4 × 1.5"TOF無し	101.6 × 38.1	3.3	3.0	3.5	3.5	94.6 × 31.8
"4 × 5"ラベル/ギャップ1	97.3 × 127.0	1.5	1.5	3.5	3.8	90.0 × 124.0
"4 × 5"ラベル/ギャップ2	101.6 × 127.0	1.5	1.5	3.5	5.4	92.7 × 124.0
"2 × 1.5"ラベル/ギャップ	46.5 × 38.1	2.5	2.0	3.5	3.8	39.2 × 33.6
"2 × 1.5"タグ/マーカ	50.8 × 38.1	2.7	2.5	3.5	3.5	43.8 × 32.9
"2 × 1.5"TOF無し	50.8 × 38.1	3.3	3.0	3.5	3.5	43.8 × 31.8
"2 × 8"ラベル/ギャップ	46.5 × 203.2	2.5	2.0	3.5	3.8	39.2 × 198.7
"2 × 8"タグ/マーカ	50.8 × 203.2	2.7	2.5	3.5	3.5	43.8 × 198.0
"2 × 8"TOF無し	50.8 × 203.2	3.3	3.0	3.5	3.5	43.8 × 196.9



使用する用紙が登録されていないときは、使わない用紙名に新しい用紙のサイズなどを登録してから選択します (45 ページ)。

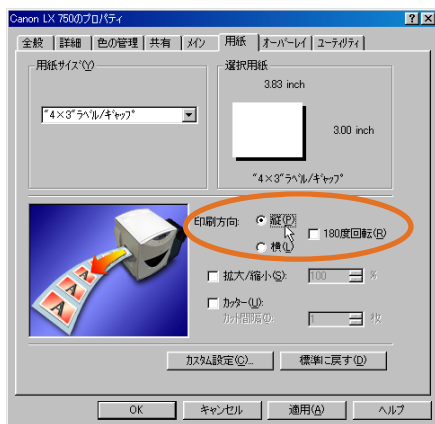
■ 印刷の向きの設定

用紙に対する画像の向きを [印刷方向] で選択します。

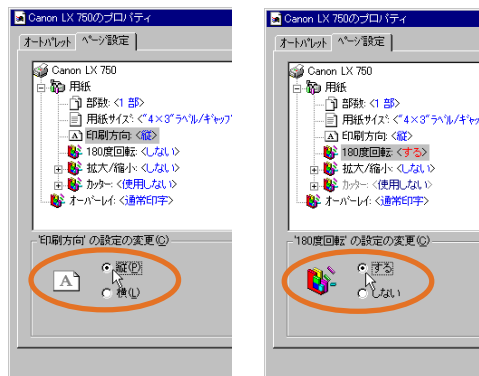
Windows 98/95 では [用紙] タブで設定します。

Windows NT ではドキュメントプロパティの [ページ設定] タブで [用紙] をクリックし、[印刷方向] と [180度回転] をクリックして設定します。

Windows 98 / 95 の場合

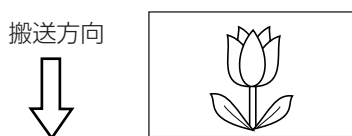


Windows NT の場合

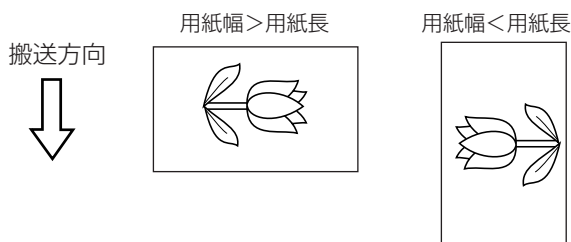


[印刷方向]

[縦] 用紙の搬送方向に対して画像を正立に印刷します。



[横] 用紙幅が用紙長より長いときは、用紙の搬送方向に対して画像を右に90度回転して印刷します。
用紙幅が用紙長より短いときは、用紙の搬送方向に対して画像を左に90度回転して印刷します。



[180度回転] 画像をさらに180度逆さまに印刷します。



アプリケーションソフトによっては、用紙の向きを独自に判断するものがありますので必ずテスト印刷をして確認してください。詳しくは、アプリケーションソフトの取扱説明書をご確認ください。

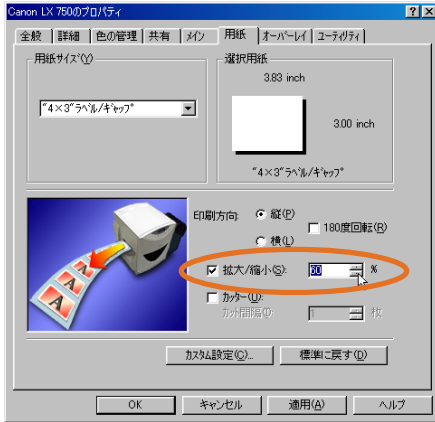
■ 拡大／縮小印刷の設定

画像を50%～200%の範囲内で拡大・縮小して印刷することができます。

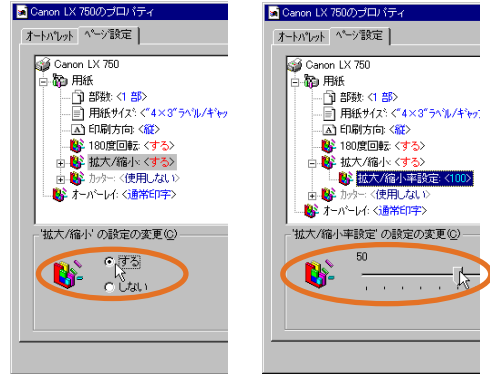
Windows 98/95では[用紙]タブで[拡大／縮小]をチェックして設定します。

Windows NTではドキュメントプロパティの[ページ設定]タブで[用紙]をクリックし、[拡大／縮小]と[拡大／縮小率設定]をクリックして設定します。

Windows 98／95の場合



Windows NTの場合



アプリケーション側にも用紙サイズの設定項目がある場合は、元のサイズの画像データが納まる用紙サイズを設定しておいてください。

また、アプリケーション側にも拡大／縮小印刷機能がある場合は、アプリケーション側の機能をお使いください。

■ カット間隔の設定

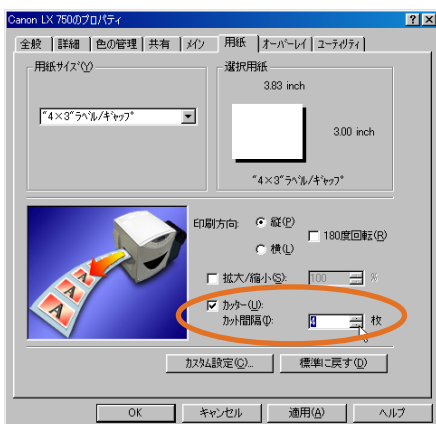
オプションのオートカッターをご使用になるときに、用紙を何枚ずつカットするかを設定します。

Windows 98/95 では [用紙] タブで [カッター] をチェックして設定します。

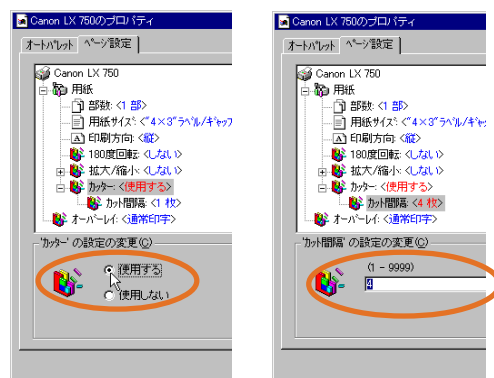
Windows NT ではドキュメントプロパティの [ページ設定] タブで [用紙] をクリックし、[カッター] と [カット間隔] をクリックして設定します。

カット間隔は、最大 9999 枚まで設定できます。

Windows 98 / 95 の場合



Windows NT の場合



メモ

Windows NT でオートカッターを使用する場合は、プリンタプロパティの [デバイスの設定] タブで [カッター] - [カッターオプション] を選択し、使用するカッターを選択しておいてください。

オプションのオートカッターの使用方法については「第7章 付録 4. オートカッターの使いかた」をお読みください。

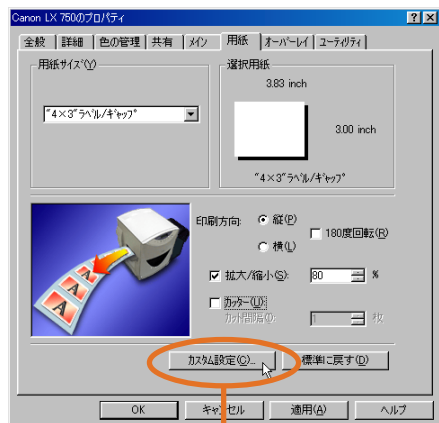
■ 用紙サイズを登録する

[用紙サイズ] に登録されていないサイズの用紙を使用するときは、使わない用紙名に新しい用紙の情報を登録してください。用紙サイズの登録は [カスタム設定] ダイアログボックスで行います。

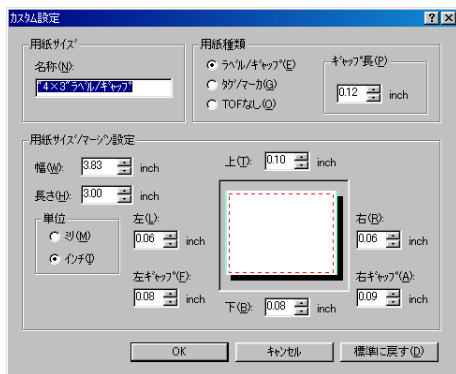
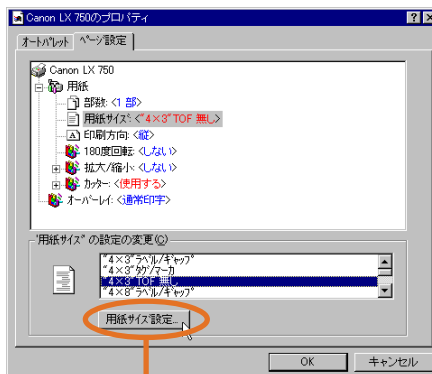
Windows 98/95 では [用紙] タブで使わない [用紙名] を選んでから [カスタム設定] ボタンをクリックします。

Windows NT ではドキュメントプロパティの [ページ設定] タブで [用紙] - [用紙サイズ] をクリックし、使わない [用紙名] を選んで [用紙サイズ設定] ボタンをクリックします。

Windows 98 / 95 の場合



Windows NT の場合



[カスタム設定]
ダイアログボックス

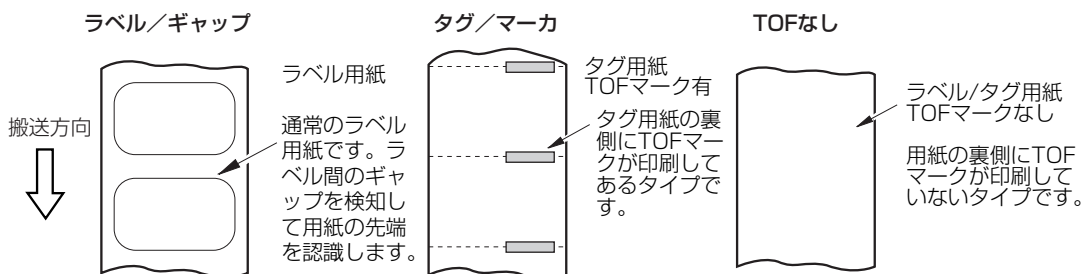
●用紙サイズ [名称]

新しい用紙の名称を入力します。

●用紙種類

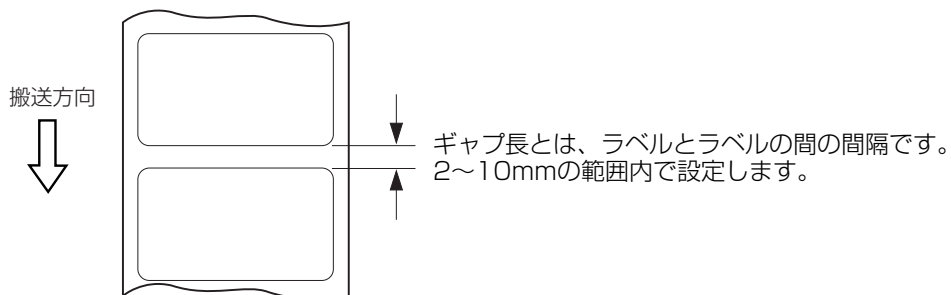
新しい用紙の種類を選択し、[ギャップ長] または [マーク長] を設定します。

用紙種類は次の3種類から選択します。



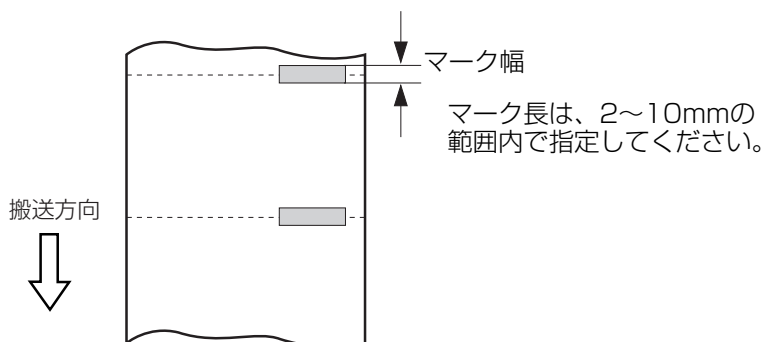
[ラベル/ギャップ] を選択した場合

右隣の [ギャップ長] ボックスにラベル間の間隔を入力します。



[タグ/マーカ] を選択した場合

右隣の [マーク長] にマークの幅を入力します。



●用紙サイズ/マージン設定

用紙のサイズやマージン（画像周囲の余白部分）の寸法を設定します。

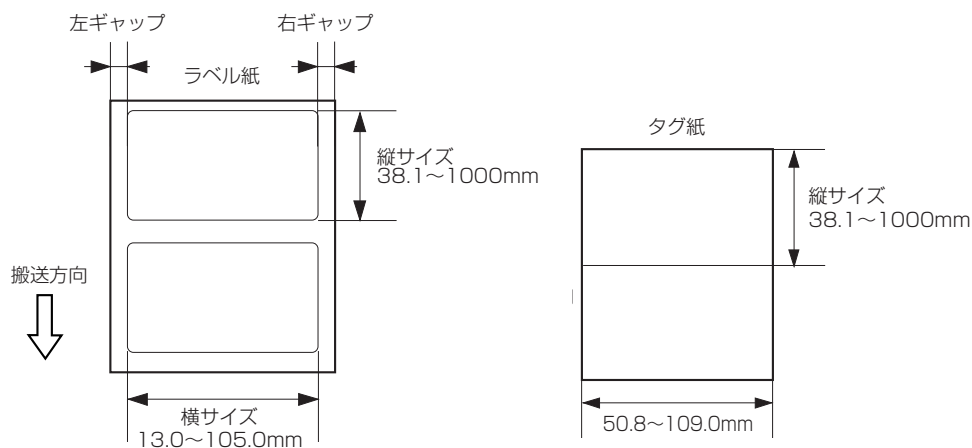
[単位] 入力する数値の単位を選択します。

[幅] 用紙の幅（用紙の幅方向）を

ラベル紙の場合は、13.0mm～105.0mmの範囲で入力します。用紙の幅と左ギャップ/右ギャップの合計が50.8mm以上になるように入力してください。

タグ紙の場合は、50.8mm～109.0mmの範囲で入力します。

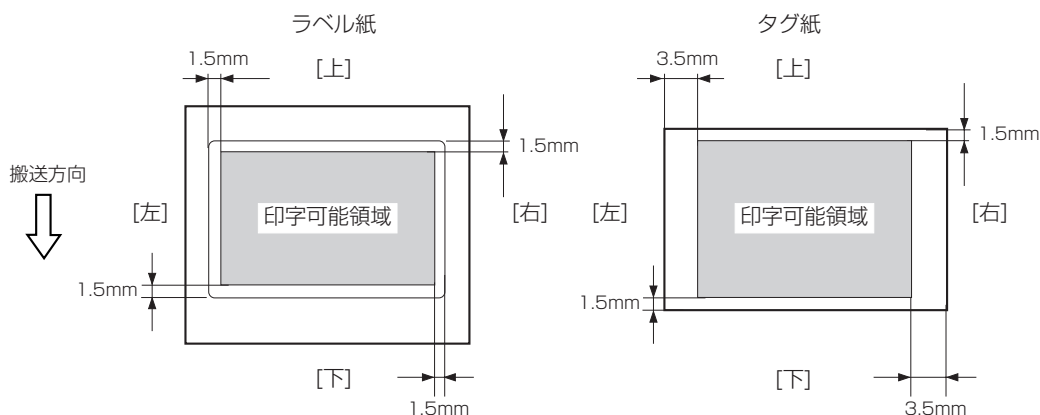
[長さ] 用紙の長さ（搬送方向）を38.1mm～1000.0mmの範囲で入力します。



[上] [下] [左] [右]

用紙周辺の余白量を、用紙端から画像までの距離で入力してください。

ラベル紙の場合は、上下左右各1.5mm以上、タグ紙の場合は、上下各1.5mm以上、左右各3.5mm以上の余白が必要です。



[左ギャップ] [右ギャップ]

用紙種類で[ラベル/ギャップ]を選択した場合に、用紙左右余白に加え、ラベル台紙サイズ（ギャップ）を入力してください。

余白とラベル台紙サイズ（ギャップ）の合計が、3.5mm以上になるように入力してください。

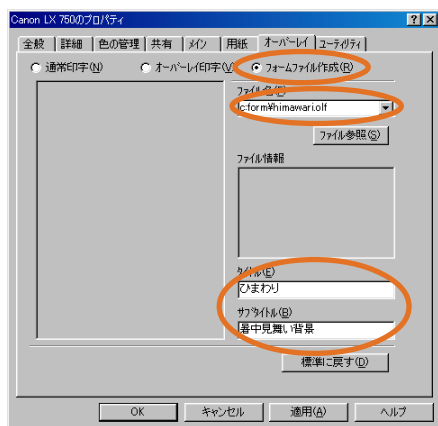
4. [オーバーレイ] タブの設定

オーバーレイ印刷機能を使用すると、あらかじめ背景画像をフォームファイルとして作成しておき、印刷時に前景となる画像や文字と合成して印刷することができます。Windows 98/95では[オーバーレイ]タブ、Windows NTではドキュメントプロパティの[ページ設定]タブで[オーバーレイ]をクリックして選択します。

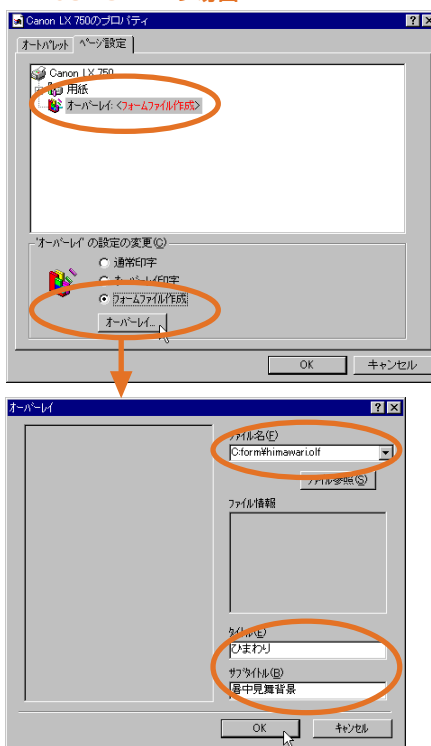
■ フォームファイルの作成

Windows 98/95では[オーバーレイ]タブで[フォームファイル作成]を選択します。Windows NTでは[ページ設定]タブで[フォームファイル作成]を選択して[オーバーレイ]をクリックします。

Windows 98 / 95 の場合



Windows NT の場合



- | | |
|----------|---|
| [ファイル名] | フォームの保存先ファイル名を指定します。
[ファイル参照] をクリックしてファイルを選択することもできます。 |
| [タイトル] | フォームのタイトルを入力します。 |
| [サブタイトル] | フォームのサブタイトルを入力します。 |

以上の項目を入力して [OK] をクリックしてプロパティを閉じてください。

フォームファイルは、上記の設定を行ってからアプリケーションで背景画像の印刷を行うことによって作成されます。

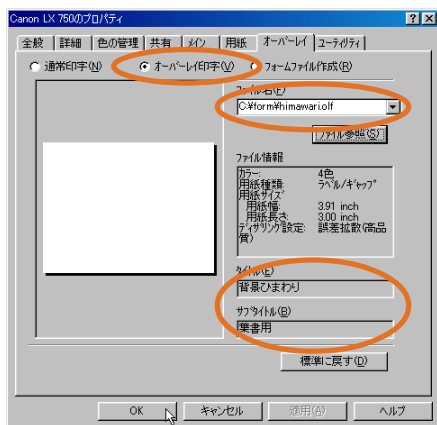
フォームファイルの作成が終了したら [通常印字] に戻しておいてください。

■ オーバーレイ印刷

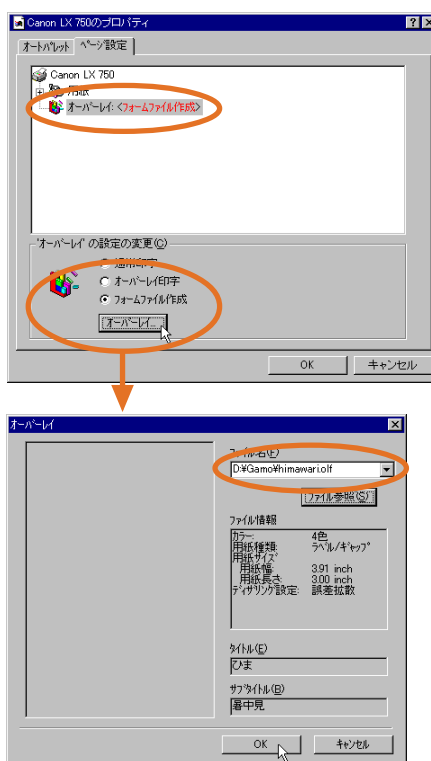
Windows 98/95 では [オーバーレイ] タブで [オーバーレイ印字] を選択します。

Windows NT では [ページ設定] タブで [オーバーレイ印字] を選択して [オーバーレイ] をクリックします。

Windows 98 / 95 の場合



Windows NT の場合



[ファイル名] [ファイル参照] をクリックし、使用するフォームファイルを指定します。

フォームファイルを指定すると、そのフォームのファイル情報、タイトル、サブタイトル、そして左側のボックスにフォームの縮小画像が表示されますので、確認して [OK] をクリックしてプロパティを閉じてください。

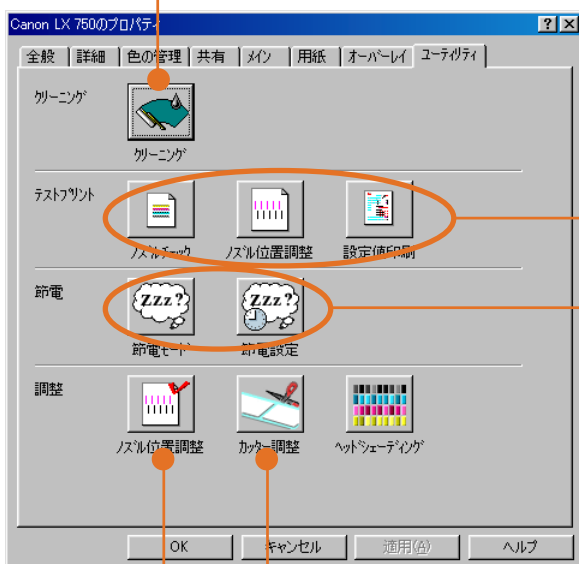
上記の設定を行ってからアプリケーションで前景画像の印刷を行うと、フォーム画像に前景画像が重ね合わされて印刷されます。

オーバーレイ印刷が終了したら [通常印字] に戻しておいてください。

5. [ユーティリティ] タブの設定

[ユーティリティ] タブを使って、パソコンからの操作で本機の各種メンテナンスを実行することができます。

クリーニングを実行します
(60 ページ)。



各種テストプリントを行います
・ノズルチェックパターン (58 ページ)
・ノズル位置調整パターン (61 ページ)
・設定値印刷 (65 ページ)

節電モードにしたり、自動的に節電
モードになるまでの時間を設定します
(51 ページ)。

4つのヘッドのノズル位置を
調整します (62 ページ)。

ラベルの停止位置を調整します
(52 ページ)。

■ プリンタの電源制御

本機は、メイン電源スイッチをオンにした後は原則として常に操作パネルの〔節電〕キーで、節電モードと通常モードを切り替えて使用します。プリンタドライバのユーティリティ機能を使うことでパソコンからの操作で通常モードから節電モードに切り替えることができます。

ユーティリティ機能は、Windows 98/95、Windows NT 共にプリンタプロパティの [ユーティリティ] タブで行います。



● 節電モード

ユーティリティで [節電モード] ボタンをクリックします。

しばらくすると本機が節電モードとなり、印刷可ランプがゆっくり点滅します。

● 節電設定

一定の時間パソコンから印刷データが送られてこないときや、操作をまったく行わなかったときに、本機を自動的に節電モードに切り替える機能です。

ユーティリティで [節電設定] ボタンをクリックすると [節電設定] ダイアログボックスが表示されます。



[節電設定] で自動的に節電モードにするまでの時間を5分、10分、15分、30分、60分から選択します。[無効] を選択すると、自動的に節電モードへ切り替わることはありません。

[送信] をクリックすると、節電モード切り替え機能がセットされます。

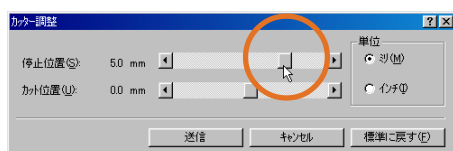
■ 停止位置の調整

プリンタドライバのユーティリティ機能を使って、印刷済みラベルの停止位置を調整することができます。停止位置調整は Windows 98/95、Windows NT 共に [ユーティリティ] タブの [カッター調整] ボタンをクリックし [カッター調整] ダイアログで行います。



標準のラベルカッターをお使いの場合は、用紙の停止位置を調整します。

[ユーティリティ] タブで [カッター調整] ボタンをクリックすると [カッター調整] ダイアログボックスが表示されますので、[停止位置] スライドつまみで用紙の停止位置を調整してください。現在の位置から印刷方向に対してプラス方向、マイナス方向に調整します。設定できる範囲は、-10~+10mmです。(単位はミリとインチに切替えられます)



[送信] をクリックすると調整した停止位置が設定されますので、テスト印刷を行ない、用紙間の中央をカットしていることを確認し、実際の印刷を行なってください。



[停止位置] は、ラベルカッターでカットするときの用紙位置についてのみ機能します。オプションのオートカッター使用時は機能しません。



メモ

オプションのオートカッターをお使いの場合は、[カット位置]スライドつまみで用紙のカット位置を調整することができます。

Windows NTでオートカッターを使用する場合は、プリンタプロパティの[デバイスの設定]タブで[カッター] - [カッターオプション]を選択し、使用するカッターを選択しておいてください。

オプションのオートカッターの使用方法については「第7章 付録 4. オートカッターの使いかた」をお読みください。

第4章 ステータスマニタの使いかた

CD-ROM付属のステータスマニタを使用すると、本機の状態をパソコン上で確認することができます。

ステータスマニタは、スタートメニューで [Canon LX 750 Status Monitor] - [Canon LX 750 Status Monitor] を選択してください。



メモ

インストール方法については、第7章 付録「2.ソフトウェアのインストール」をお読みください。
ステータスマニタは、Windows 98 のみでお使いになれます。
Windows 95/NT ではお使いになれません。


1. ステータスマニタの機能


ステータスマニタを起動すると、本機を定期的に監視して状態をわかりやすいイラストとメッセージで伝えます。



●状態アイコン

状態アイコン  は、プリンタの状態によって色が変わります。

 : 正常な状態です。印刷可能です。

 : ワーニング（警告）です。プリンタ本体を確認してください。

 : エラーが発生しています。

なお、ステータスマニタを最小化した場合は、タスクバーに状態アイコンのみ表示されます。ステータスマニタを元の大きさに表示する場合は状態アイコンをクリックしてください。

●代表的なメッセージアイコン



ドアオープン



エラー発生



紙づまり発生



インク切れ



用紙なし

2. ステータスマニタの設定

監視するプリンタの選択や、監視間隔について設定します。

ステータスマニタを設定するときは、メニューで【プリンタ】 - 【プロパティ】 を選択し、【プロパティ】 ダイアログボックスを表示します。

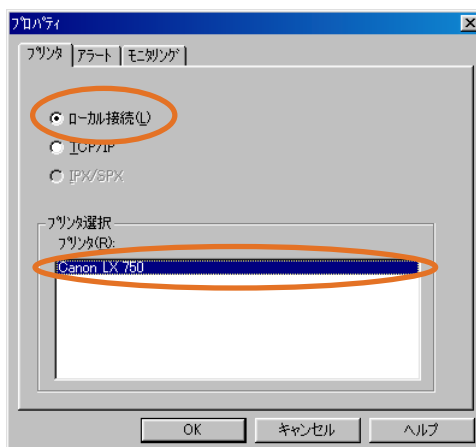
●プリンタの選択

監視するプリンタを【プリンタ】 タブで設定します。

パラレルインターフェース／USB で接続の場合

【ローカル接続】 を選択し、【プリンタ】 リストから【Canon LX 750】 を選択して【OK】 をクリックします。

なお、別のパソコンに接続されている本機をネットワーク経由で使用する場合は、次の「TCP/IP 接続の場合」または「IPX/SPX 接続の場合」で設定してください。

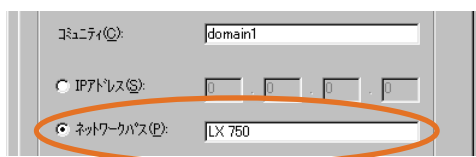
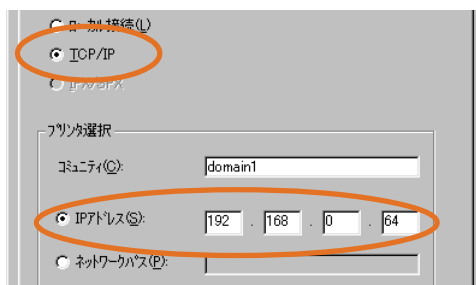


TCP/IP 接続の場合

【TCP/IP】 を選択し、【コミュニティ】 にプリンタのサブドメイン名を入力します。

本機を単独でプリントサーバとしてお使いの場合は、【IP アドレス】 を選択して本機の IP アドレスを設定します。

特定のパソコンに接続している本機を共有している場合は【ネットワークパス】 を選択し、DNSに登録されているホスト名を入力してください。

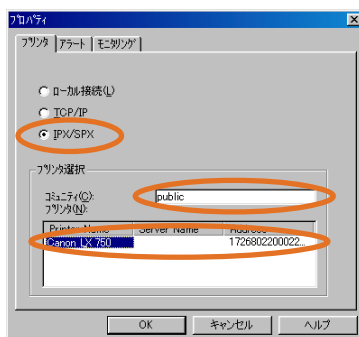


メモ

特定のパソコンと本機との接続で、パソコンの平行インターフェースが片方向通信に設定されている場合、ステータスマニタの機能は動作しません。

IPX/SPX 接続の場合

[IPX/SPX] を選択します。
 [コミュニティ] にプリンタのサブドメイン名を入力し、[プリンタ] リストから本機のプリンタ名を選択して [OK] をクリックします。



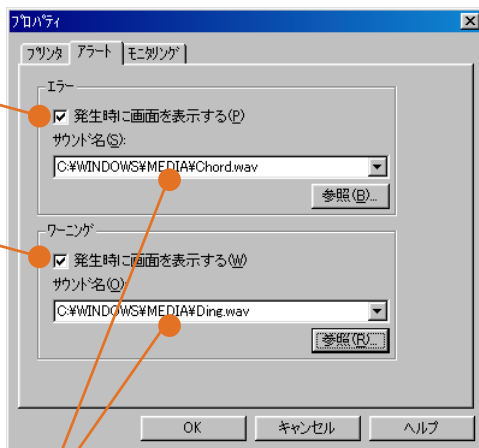
NetWareサーバーにパラレルインターフェースで直接接続されている場合、ステータスマニタの機能は動作しません。

●エラー・ワーニング発生時の表示方法

エラーまたはワーニングを検出したときの動作を [アラート] タブで設定しておくことができます。これにより、ステータスマニタを最小化表示にしている場合、自動的にサウンドを鳴らしたり、ステータスマニタを表示させたりすることができます。

チェックしておく、エラーが発生したときにステータスマニタを自動的に表示します。

チェックしておく、ワーニング（警告）が発生したときにステータスマニタを自動的に表示します。

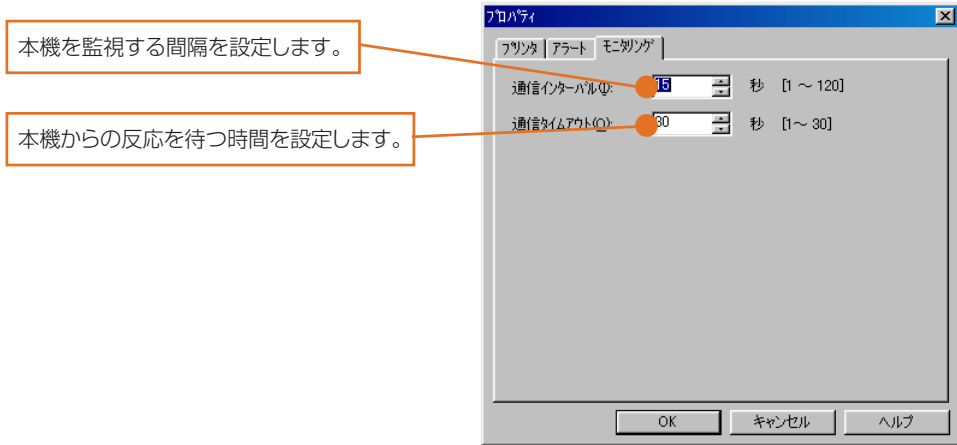


エラーやワーニングが発生したときに鳴らすサウンドを、それぞれ別々に設定することができます。[参照] ボタンをクリックするとファイル指定のダイアログボックスが開きますので、任意のサウンドファイル（拡張子 WAV）を指定してください。
 サウンドを鳴らさないときは [サウンド名] で (なし) を選択してください。

●監視間隔とタイムアウトの設定

ステータスマニタは、あらかじめ設定された間隔（通信インターバル、本体出荷時は15秒間隔）で本機の状態を監視します。

この通信インターバルと、本機からの反応があるまで待つ時間（通信タイムアウト、本体出荷時は30秒）を、[モニタリング] タブで設定しておくことができます。



第5章 メンテナンス

印刷結果にスジ上の色ムラや色ずれが見受けられるときや、用紙がインクで汚れるようなときは、必要に応じて下記のメンテナンスを行ってください

1. ノズルチェックパターン

各色インクの印刷位置のずれや、インクの不吐出部、色のムラなどを確認できます。

●ノズルチェックパターンの印刷

ノズルチェックパターンの印刷はWindows 98/95、Windows NT 共にプリンタプロパティの [ユーティリティ] タブで行います。

幅4インチ×長さ3インチの用紙がセットされていることを確認して [ノズルチェック] をクリックしてください。

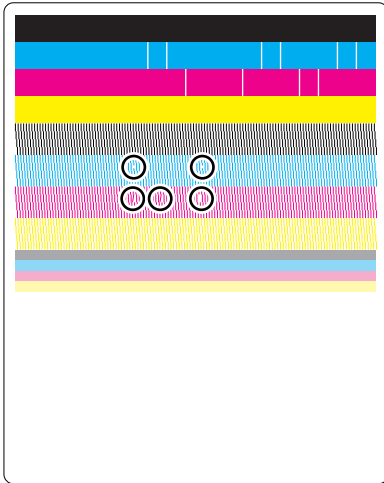
幅4インチ×長さ3インチ以外の用紙をご使用の場合、ノズルチェックパターンが欠けたり印刷されない場合があります。



しばらくするとノズルチェックパターンが印刷されます。

●ノズルチェックパターンの見かた

すべてのノズルから正常にインクが吐出されているかどうかを確認することができます。



不吐出ノズルの部分が白いスジ状になります。



不吐出ノズルの部分の縦線が印刷されません。
ヨレ部分の縦線が所定の位置に印刷されません。



不吐出ノズルの部分が白いスポットになります。

不吐出ノズルやヨレが確認できる場合は「ヘッドのクリーニング」(→60 ページ)を行ってください。



メモ

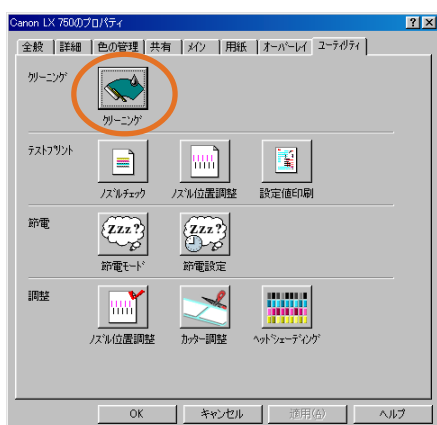
不吐出ノズルを長く放置すると、クリーニングを繰り返して行っても回復しにくくなる恐れがあります。定期的にノズルチェックパターンを印刷して、不吐出ノズルを発見したらすぐにクリーニングするようにしてください。

2. ヘッドのクリーニング

本機には4色のインクに対応した4つのヘッドが用意され、各ヘッドから各インクを吐出することによって用紙に印刷しています。

文字が欠けたり、白いスジがある場合は、ヘッドにホコリや紙粉が付着している可能性がありますので、次の操作でヘッドのクリーニングを行ってください。

ヘッドのクリーニングを実行するときは、Windows 98/95、Windows NT 共にプリンタプロパティの [ユーティリティ] タブを表示し、[クリーニング] をクリックしてください。



しばらくするとクリーニングが行われます。

クリーニング中は表示パネルに「クリーニング チュウ」が表示され、終了すると「オンライン」が表示されます。



メモ

操作パネルの **クリーニング** キーを押してヘッドのクリーニングを行うこともできます。

3. ノズル位置の微調整

本機は設置時に最良の状態でき印刷できるように調整されていますが、振動や衝撃を受けたときや本機を移動したときなどに、4つのヘッドの位置がずれる場合があります。

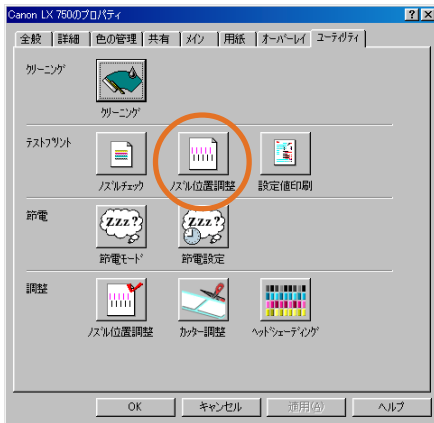
本機を移動した後や、印刷結果のコントラストや解像度が低下しているように感じられるときは「ノズル位置調整パターン」を印刷してノズル位置を確認し、ずれがあった場合は「ノズル位置調整」を行います。

■ ノズル位置調整パターンの印刷

ノズル位置調整パターンの印刷はWindows 98/95、Windows NT 共にプリンタプロパティの [ユーティリティ] タブで行います。

幅4インチ×長さ3インチの用紙がセットされていることを確認して [テストプリント] の [ノズル位置調整] をクリックしてください。

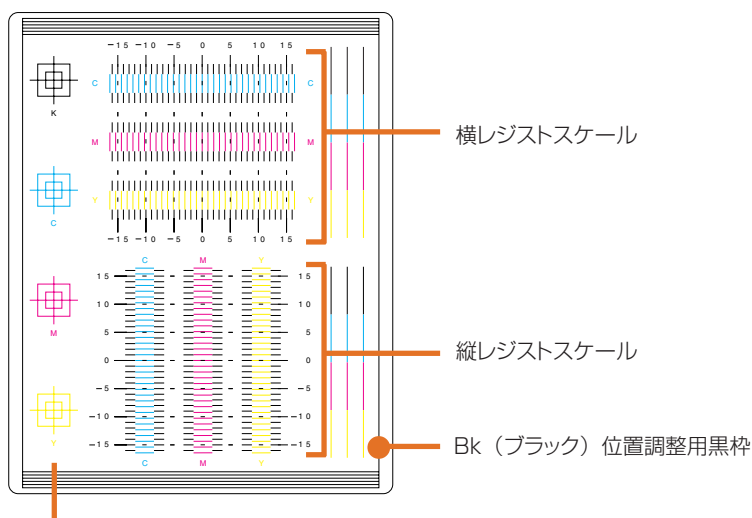
幅4インチ×長さ3インチ以外の用紙をご使用の場合、ノズル調整パターンが欠けたり、印刷されない場合があります。



しばらくするとノズル位置調整パターンが印刷されます。

■ ノズル位置調整パターンの見かた

ノズル位置調整パターンには、搬送方向の位置ずれを測るための「縦レジストスケール」と、横方向の位置ずれを測る「横レジストスケール」、そして各インクの基準となるBk（ブラック）の位置を確認するための黒枠が印刷されます。



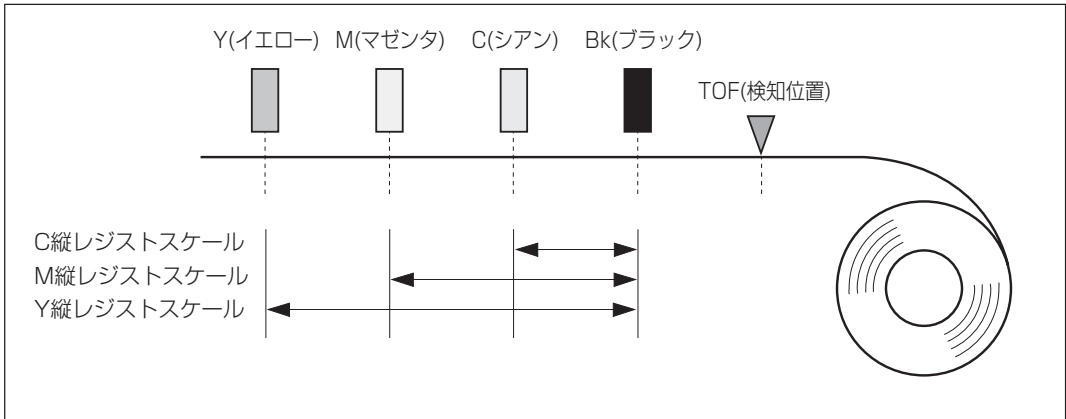
Bk（ブラック）位置調整用黒枠は、枠全体が用紙の中心に入っているかどうかを調整するためにあります。必要に応じて「ノズル位置調整」（→ 64 ページ）で Bk（ブラック）の調整を行います。

- ・ 黒枠が左にずれている場合 Bk の横レジスト補正量を増やし（+値入力）ます
- ・ 黒枠が右にずれている場合 Bk の横レジスト補正量を減らし（-値入力）ます
- ・ 黒枠が上にずれている場合 Bk の縦レジスト補正量を減らし（-値入力）ます
- ・ 黒枠が下にずれている場合 Bk の縦レジスト補正量を増やし（+値入力）ます

なお、Bk（ブラック）の横レジスト補正量、縦レジスト補正量を調整した場合は、レジストスケールの基準が変わりますので、ノズル位置調整パターンを印刷し直してください。

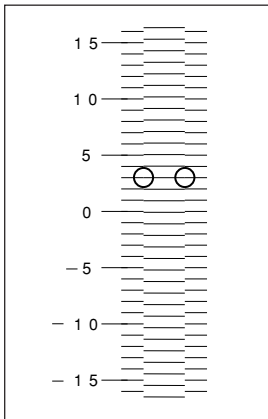
●縦レジストスケール

本プリンタでは、下図のようにインクが吐出されています。



縦レジストスケールでは、Bk（ブラック）を基準とした他のインクの吐出タイミングを計ります。黒の目盛と各色の目盛が一致した位置の値が、そのまま必要なレジスト補正量です。

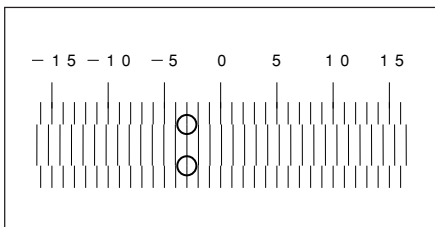
例：+3ドットの補正が必要なとき



●横レジストスケール

横レジストスケールは、Bk（ブラック）を基準とした横方向のヘッドのずれを測ります。黒の目盛と各色の目盛が一致した位置の値が、そのまま必要なレジスト補正量です。

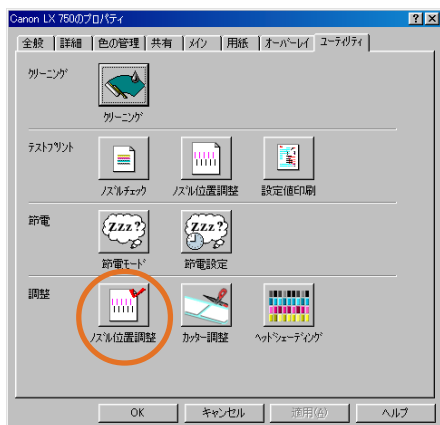
例：-3ドットの補正が必要なとき



■ ノズル位置調整のしかた

あらかじめノズル位置調整パターンを印刷して、各色のレジスト補正量を測ってください。

Bk（ブラック）の位置を調整する場合は、調整後にもう一度ノズル位置調整パターンを印刷し、Bk（ブラック）以外のレジスト補正量を測り直して調整してください。



ノズル位置調整を行うときは、Windows 98/95、Windows NT 共にプリンタプロパティの [ユーティリティ] タブを表示し、[調整] の [ノズル位置調整] をクリックしてください。



[ノズル位置調整] ダイアログボックスが表示されますので、各色ごとのレジスト補正量を設定して [送信] をクリックしてください。

ノズル位置調整が行われます。

再度ノズル位置調整パターンを印刷して確認してください。

[標準に戻す] をクリックすると、入力した値を0に戻します。

4. 設定値印刷

本機に設定されている情報を印刷します。

設定値印刷はWindows 98/95、Windows NT共にプリンタプロパティの [ユーティリティ] タブで行います。

幅4インチ×長さ3インチの用紙がセットされていることを確認して [設定値印刷] をクリックしてください。

幅4インチ×長さ3インチ以外の用紙をご使用の場合、設定値の印刷が欠けたり、印刷されない場合があります。



しばらくすると設定値印刷が行われます。

■ 設定値の見かた

LX 750		Engine Controller Ver. 1.00) プリンタ本体のエンジン/コントローラ、ソフトウェアのバージョン
		Controller Ver. 1.00	
Printer Serial Number	No.	B106A00001) レジスト補正量
V-Nozzle Adjustment Value			
	Bk	0 dot	
	C	3 dot	
	M	8 dot) ネットワーク設定内容
	Y	10 dot	
H-Nozzle Adjustment Value			
	Bk	0 dot	
	C	-1 dot) 用紙のカット位置、停止位置
	M	-10 dot	
	Y	-15 dot	
Network	Ethernet Address	00C0A100000A	
IP Boot Method	Address Mode	PANEL	
TCP/IP	IP Address	192.27.19.255	
	Subnet Mask	255.255.255.0	
	Gateway Address	192.27.19.1	
Cut Position Adjustment Value		0.0 mm	
Stop Position Adjustment Value		0.0 mm	

5. インクカートリッジの交換

インクが少なくなったり、なくなると、表示パネルに **カートリッジ コウカン (Y)** **インクガアリマセン (Y)** のようにインクのなくなった色を () 内に表示します。表示された色のインクカートリッジを以下の方法で新しいものと交換してください。



注意

インクカートリッジはカラーラベルプリンタ専用インクカートリッジを使用してください。インクカートリッジを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。
“カートリッジコウカン”が表示されたら、できるだけ早く新しいインクカートリッジに交換してください。印刷された画像が濃くなる場合があります。



禁止

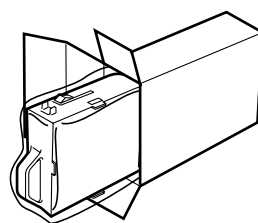
インクカートリッジの挿入部内には針部があり危険です。内部に指を入れたりしないでください。インクカートリッジを保管する場合は直射日光の当たらない場所に保管してください。インクカートリッジは、1年を目安に交換することをおすすめします。また使用していないカートリッジは使用するときまで開封しないで保管してください。インクカートリッジは、一度セットしたら次回交換時まで、抜き差しは避けてください。

1

前ドアを開けます。

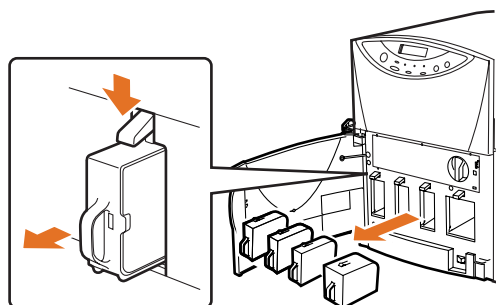
2

新しいインクカートリッジを用意します。



3

レバーを押し下げながら空になったインクカートリッジを取り出します。

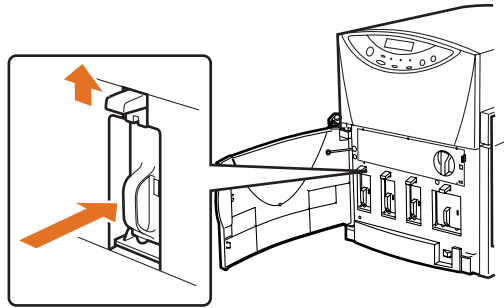


4

新しいインクカートリッジをセットします。

カートリッジはカチッと音がしてレバーが上が
るまで確実に押し込んでください。

左からイエロー（Y）、マゼンタ（M）、シア
ン（C）、ブラック（BK）の順です。



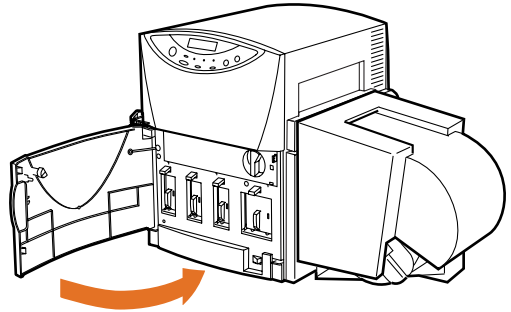
メモ

新しいインクカートリッジをセットするときは、
左右に5・6回程度軽く振ってから差し込んで
ください。

5

すべてのカートリッジをセットしたこ とを確認し、前ドアを閉めます。

自動的にインクの循環が開始され、印刷の準
備が完了すると自動的にオンライン状態にな
ります。



6. プリンタの清掃

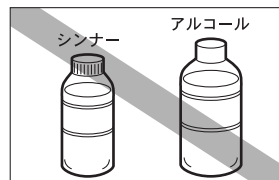
プリンタの内部が汚れていると、印刷結果が汚れてしまったり、用紙がうまく送られなかったりします。常に良好な状態で印刷できるように、定期的に清掃してください。本体外部が汚れたときは、水または中性洗剤を含ませて硬く絞った布で拭いてください。



警告

本体を清掃するときは、アルコール、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。

本体を清掃するときは、必ずプリンタのメイン電源スイッチが切れていることを確認してください。火災や感電の原因になります。本機のカバーははずさないでください。感電の恐れがあります。

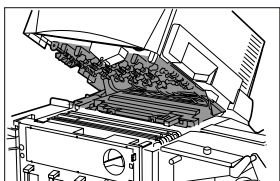
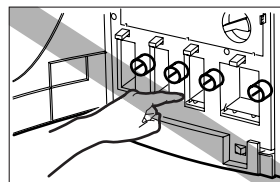


注意

インクカートリッジ挿入部の奥には針部があり危険です。指を入れたりしないでください。けがや故障の原因となります。

電源コードやケーブル、本体開口部、本体内部のギア・ベルト・ローラ・電気部品に子供が触れないように注意してください。けがや故障の原因となります。

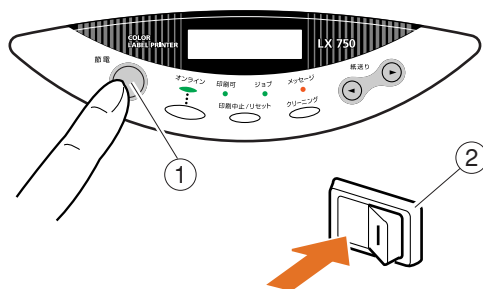
ヘッド周辺(右図のグレー部分)に手を振れないように注意してください。故障やけがの原因となります。



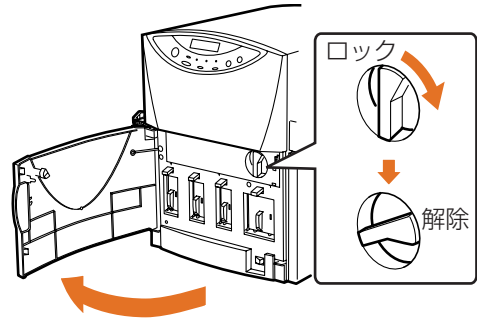
1

本体の電源を切ります。

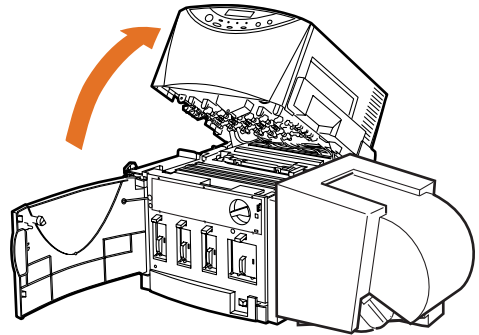
先に操作パネルの(節電)キーを押して、節電モードにしてからメイン電源スイッチを切ってください。



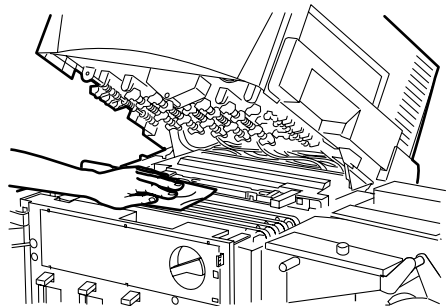
- 2 前ドアを開け、PHSユニットロック
ハンドルを「解除」位置にします。



- 3 PHSユニットを持ち上げて開きます。



- 4 水または中性洗剤を含ませて硬く
絞った布で、ベルトやローラー等に
付着したホコリや紙粉を拭き取りま
す。



ペーパータオルやティッシュペーパーは使用しないでください。切れかすや紙粉が本体内に入ると、故障の原因となります。

第6章 困ったときは

思いどおりに動作しないときや、正しく印刷できないときは該当する参照ページの対処方法をお試しください。

それでもうまくいかない場合は、「お客様相談センター」（→巻末）にご相談ください。

メッセージが表示されたとき	(→本ページ)
用紙が詰まったとき	(→72ページ)
操作や印刷動作に関するトラブル	(→75ページ)
印刷結果に関するトラブル	(→77ページ)

1. メッセージが表示される

操作中や印刷中に処理を続行できないようなトラブルが発生すると、表示パネルにエラーメッセージや警告メッセージを表示します。次のエラーメッセージおよび警告メッセージ一覧（五十音順）で内容を確認し、正しく対処してください。

なお、複数のエラーが同時に発生した場合は、すべてのメッセージが1秒ごとに順次切り替え表示されますので、すべてのエラー対処をしてください。

■ エラーメッセージ

エラーメッセージ	エラーの内容	対処方法
イ ^{ンク} ア ^リ セ (Y/M/C/Bk)	()内の色のインクが空になりました。	新しいインクカートリッジに交換してください。
ギャ ^{ップ} / マ ^{ーク} テ ^ン ク	プリンタドライバの設定と実際にセットした用紙のギャップ/マーク幅が異なっています。	用紙が違っていた場合は正しい用紙に交換して （オンライン） キーを押してください。 プリンタドライバの設定が違っている場合は （印刷中止/リセット） キーを押して印刷を中断し、用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。
サー ^ビ ス ^コ ール	お客様では、修復不可能なエラーが発生しました。	表示されている数字（ 部分）を控えて、お買い求めの販売店またはお客様相談窓口まで連絡してください。
マト ^ア オ ^ー プ ^ン	前ドアが開いています。	PHSユニットロックハンドルが「ロック」位置になっていることを確認し、前ドアを閉じてください。
メモ ^リ フ ^ル	フォームオーバーレイのフォームデータの容量が大きいため、メモリが足りません。	（印刷中止/リセット） キーを押して印刷を中断し、フォームデータを作り直してください。

エラーメッセージ	エラーの内容	対処方法
ヨシガ アリマセン	用紙がありません。	用紙を交換してください。印刷を中断する場合は(印刷中止/リセット)キーを押してください。
ヨシガ ツマリマシ	PHSユニット下、または出口付近で用紙が詰まっています。	PHSユニットを開いて紙詰まりを取り除き、(オンライン)キーを押してください。
ヨシガ ツマリマシ:OUT	出口付近(オートカッターなど)で用紙が詰まっています。	出口オプション(オートカッターなど)のカバーおよびPHSユニットを開いて紙詰まりを取り除き、(オンライン)キーを押してください。
ヨシ サイズ テケン	プリンタドライバの設定と実際にセットした用紙の縦方向のサイズが異なっています。	用紙が違っていた場合は正しい用紙に交換して(オンライン)キーを押してください。 プリンタドライバの設定が違っている場合は(印刷中止/リセット)キーを押して印刷を中断し、用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。
ヨシ セット テケン	用紙が正しくセットされていません。	用紙を正しくセットしなおして(オンライン)キーを押してください。
ヨシ ヨコサイズ テケン	プリンタドライバの設定と実際にセットした用紙の横方向サイズ(幅)が異なっています。	用紙が違っていた場合や、用紙ガイドの位置がずれていた場合は正しく用紙をセットしなおしてください。 プリンタドライバの設定が違っている場合は(印刷中止/リセット)キーを押して印刷を中断し、用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。
デグ チカバ - オープン	出口オプション(オートカッターなど)のカバーが開いています。	出口オプション(オートカッターなど)のカバーを閉じて(オンライン)キーを押してください。
デグ 灯ノゲン OFF	出口オプション(オートカッターなど)の電源スイッチがオフになっています。	出口オプション(オートカッターなど)の電源をオンにしてください。
エウキャップ テケン	サブカバー内のキャップが輸送時の位置にセットされています。	キャップを使用時の位置にセットしてください。(80ページ)
PHSユニット オープン	PHSユニットが開いています。	PHSユニットを閉じてPHSユニットロックハンドルを「ロック位置」にし、前ドアを閉じてください。

■ 警告メッセージ

警告メッセージ	警告の内容	対処方法
カートリッジ コカ(色)	(色: Y/M/C/Bk)のインクが残り少なくなっています。	しばらくの間印刷可能ですが、新しいカートリッジに交換してください。
シバ ラク 板チカダ サイ	ヘッドの温度が高くなっています。	温度が下がりに次第印刷を再開しますので、このままお待ちください。

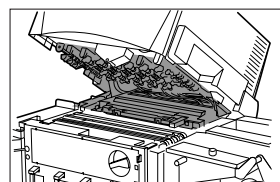
2. 用紙が詰まったら

印刷中に紙詰まりが発生すると、印刷が中断し、表示パネルに **ヨウシガツマリマシタ** というエラーメッセージが表示されます。

以下の方法で、詰まった用紙を取り除いてください。



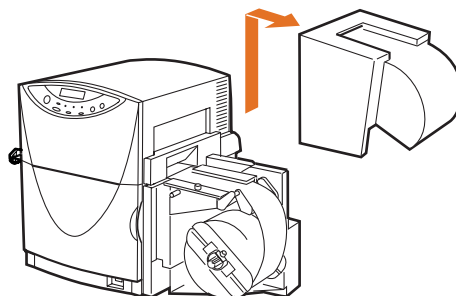
ヘッド周辺（右図のグレー部分）に手を振れないように注意してください。故障やけがの原因となります。



用紙は、カラーラベルプリンタ専用紙を使用してください。カラーラベルプリンタ専用紙以外の用紙を使用すると、にじみやかすれが生じたり、紙詰まりの原因となる場合があります。また、カールしたり折り目のある用紙を使用すると、故障の原因となります。

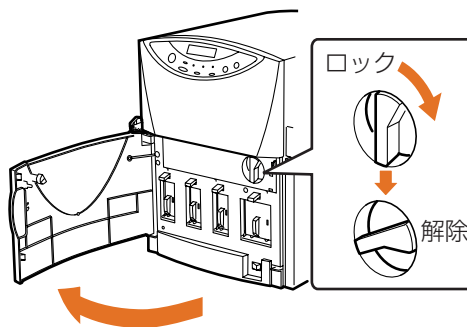
1

ロールカバーを上方に持ち上げて取り外します。



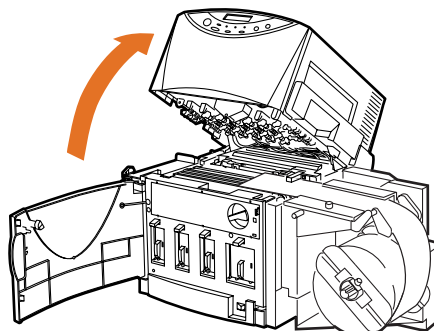
2

前ドアを開け、PHSユニットロックハンドルを「解除」位置にします。



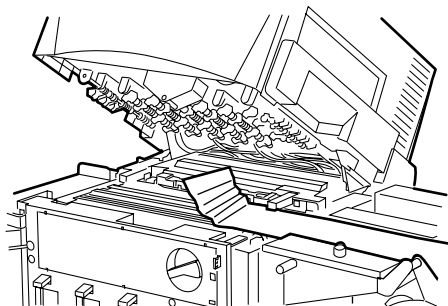
3

PHSユニットを持ち上げて開きます。



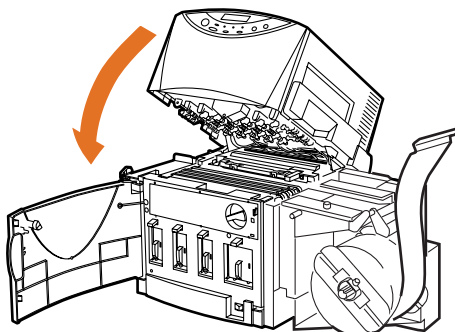
4

詰まった用紙を取り除きます。



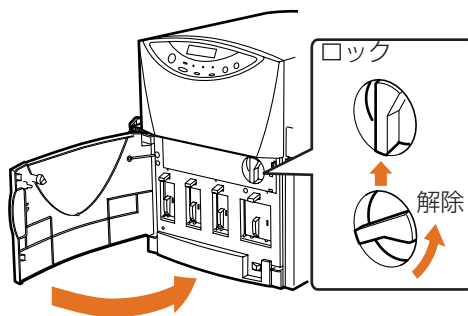
5

PHS ユニットを閉めます。



6

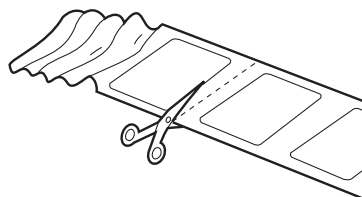
PHS ユニットロックハンドルを「ロック」位置にして、前ドアを閉じます。



7

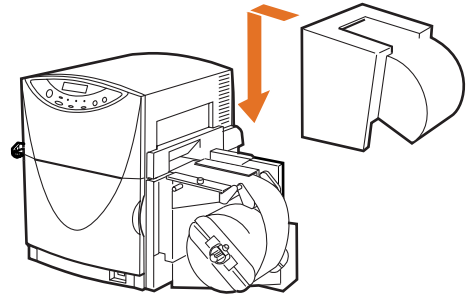
用紙の先端をきれいにカットして用紙をセットします。

用紙のセット方法については 19 ページをお読みください。



8

ロールカバーを取り付けます。



9

オンライン キーを押します。

クリーニングが行われ、印刷が再開されます。

印刷を中断する場合は **印刷中止 / リセット**

キーを押してください。

3. 動かない・印刷されない

プリンタが動かないときや、動いても意味不明の画像や文字が印刷されるときは次の対処方法を試してみてください。

■ 電源が入らない

確認ポイント	対処
メイン電源スイッチがオフ（位置）になっていませんか	メイン電源スイッチをオン（I位置）にしてください。
電源コードが外れていませんか	電源コードをしっかり差し込んでください。
コンセントに電気が来ていますか	コンセントに他の電気製品を接続してみてください。正常に動作するときはプリンタ本体の故障が考えられますので、お買い求めの販売店またはお客様ご相談窓口（巻末）までご相談ください。

■ 印刷が始まらない

確認ポイント	対処
前ドアが開いていませんか	前ドアを正しく閉じてください。 PHS ユニットロックハンドルが「ロック」位置になっていないと前ドアは閉まりません。
パソコンと接続されていますか	パソコンとプリンタをインタフェースケーブルで正しく接続してください。
用紙をセットしましたか	用紙を正しくセットしてください。
インクカートリッジをセットしましたか	インクカートリッジを正しくセットしてください。
パソコン側で本機のプリンタドライバを選んでありますか	アプリケーションソフトで印刷を開始するときに、「Canon LX 750」プリンタを選んでください。
テストパターンは印刷されますか	プリンタドライバの [ユーティリティ] タブでテストプリントを行ってみてください。 正常に印刷された場合は、アプリケーションの設定と操作方法、印刷データの内容を確認してください。 印刷されない場合はプリンタの故障も考えられます。お買い求めの販売店またはお客様相談窓口（巻末）までご連絡ください。
印刷先のポートの設定は合っていますか	プリンタドライバの「詳細」タブの [印刷先のポート] で、正しいポートが選ばれているか確認してください。
プリンタが ECP モードに設定されていませんか	プリンタを ECP プリンタポートに接続して印刷した場合不具合が生じることがあります。 ECP モードを解除してください。解除方法に関してはご使用のハードウェアの BIOS 設定をご確認ください。

■ 意味不明の文字や画像が印刷される

確認ポイント	対 処
インタフェースケーブルが外れか かかっていませんか	パソコンとプリンタをインタフェースケーブルで正しく接続してください。
パソコン側で本機のプリンタドライ バを選んでいませんか	アプリケーションソフトで印刷を開始するときに、「Canon LX 750」プリン タを選んでください。
テストパターンは印刷されますか	プリンタドライバの [ユーティリティ] タブでテストプリントを行ってみてくだ さい。 正常に印刷された場合は、アプリケーションの設定と操作方法、印刷 データの内容を確認してください。 印刷されない場合はプリンタの故障も考えられます。お買い求めの販売店 またはお客様相談窓口（ 巻末 ）までご連絡ください。

■ 印刷が遅い

確認ポイント	対 処
2 枚目以降は早く印刷されますか	本機は、1 ページ分の画像をメモリの中で展開してから印刷を開始します ので、印刷が始まるまで時間がかかります。
アプリケーション側で印刷部数を指 定していませんか	印刷部数をアプリケーション側で指定すると、1 枚印刷するたびに新たな 印刷データを送るために時間がかかる場合があります。この様なアプリ ケーションを使用する場合は、印刷部数はプリンタドライバ側で指定してく ださい。
1 枚ごとに印刷内容を変えていませ んか	1 枚印刷するたびに印刷データを送り出しますので時間がかかります。

■ 用紙がうまく送られない

確認ポイント	対 処
カラーラベルプリンタ専用紙を使用 していますか	専用紙以外の用紙を使用すると、紙詰まりの原因となります。特に、規 定より薄い紙や厚い紙は絶対に使用しないでください。故障の原因となり ます。
用紙の先端が折れたり、ラベルの 糊が劣化して剥れやすくなっていま せんか	ラベルが剥れやすくなっている用紙は絶対に使用しないでください。故障 の原因となります。
用紙ガイドを用紙の幅に合わせてい ますか	用紙ガイドを用紙の幅よりほんの僅かだけ（ 窓の出っ張り部分程：約 0.5mm ）広めにセットしてください。
給紙ローラや搬送ベルトが汚れて いませんか	給紙ローラや搬送ベルトが紙粉やインクで汚れていると、紙詰まりなどが 起こりやすくなります。定期的に清掃してください（ 68 ページ ）

4. 印刷結果に満足できない



データ・画像によっては、きれいに再現できない場合があります。

■ 印刷品質が悪い

確認ポイント	対 処
画像にすじ状の線が現れる	プリンタドライバのプロパティ画面で「ユーティリティ」を選び、「ノズルチェックパターン」を印刷してみてください。 不吐出ノズルがある場合は、「クリーニング」を実行してみてください。 また、長時間電源を切っていたり、大量の印刷を行っているときも「クリーニング」を実行してみてください。
画像にすじ状の色むらが現れる	プリンタドライバのオートパレットの詳細設定で、[クオリティ] タブの [メディア] で選択されている設定値と、プリンタにセットされている用紙の紙質が合っているか確認してください。(36 ページ)
画像の解像度やコントラストが悪い	プリンタドライバのプロパティ画面で「ユーティリティ」を選び、「ノズル調整パターン」を印刷してみてください。 各インクの印刷位置にずれがある場合は「ノズル調整」を行ってください。
中間調の表現が粗い	プリンタドライバのオートパレットの詳細設定で、[クオリティ] タブの [ディザリング設定] を [誤差拡散] にしてください。
カラーラベルプリンタ専用紙を使用していますか	専用紙以外の用紙を使用すると、印刷品位が低下することがあります。 また、紙詰まりや故障の原因となります。

■ 印刷された色がおかしい

確認ポイント	対 処
印刷された色が画面と違う	プリンタドライバのオートパレットの詳細設定で「色設定」を選び、[マッチング方法] [変換曲線] [ガンマ係数] を画像に合わせて設定してください。 また、お使いのパソコンのコントロールパネルで、[画面のプロパティ] が正しく設定されているか確認してください。 特にディスプレイの種類やガンマ係数の設定が間違っていると、正しい色がディスプレイに表示されません。
印刷された色が元の写真の色と違う	プリンタドライバのオートパレットの詳細設定で「色設定」を選び、[マッチング方法] を [写真] に設定してみてください。
カラーラベルプリンタ専用紙を使用していますか	専用紙以外の用紙を使用すると、印刷品位が低下することがあります。 また、紙詰まりや故障の原因となります。

■ 印刷された画像が暗い（明るい）

確認ポイント	対 処
画像が暗い（濃い）	プリンタドライバのオートパレットの詳細設定で「色設定」を選び、[ガンマ係数]を小さな値に変更するか、[濃度]を薄くしてみてください。
画像が明るい（薄い）	プリンタドライバのオートパレットの詳細設定で「色設定」を選び、[ガンマ係数]を大きな値に変更するか、[濃度]を濃くしてみてください。



注 意

少量の印刷のみで長期間保存（または使用）すると、印刷された画像が濃くなる場合があります。

■ モノカラーで印刷される

確認ポイント	対 処
プリンタのプロパティでモノカラー印刷が設定されていませんか	プリンタドライバのオートパレットの詳細設定で「特殊効果」を選び、[フルカラー]を選択します。また、[イメージ効果]にチェックがついていたら外してください。
アプリケーション側の設定がモノカラー印刷になっていませんか	アプリケーションによってはモノカラー印刷を設定できる場合があります。ご確認ください。

第7章 付 録

1. 移動について

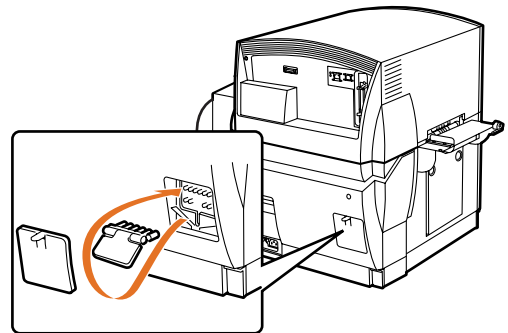
本機の設置と準備作業は通常サービスマンが行いますが、本機を建物内で移動するときや、別のパソコンに接続するときなどは、次の手順で正しく設置してください。

1

節電 キーを押して節電モードにしてからメイン電源スイッチをオフ（○位置）にします。

2

本体背面にあるサブカバーを開けて、内部のキャップを上側の6穴にしっかり取り付けてください。



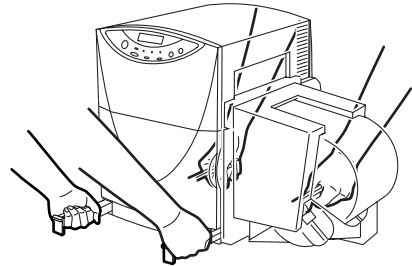
3

電源コード、アース線、インタフェースケーブルを取り外します。

4

本体を移動します。

持ち上げるときは、本体底部に収納されている4つのハンドルを引き出して、必ず2名でハンドルを持つようにしてください。



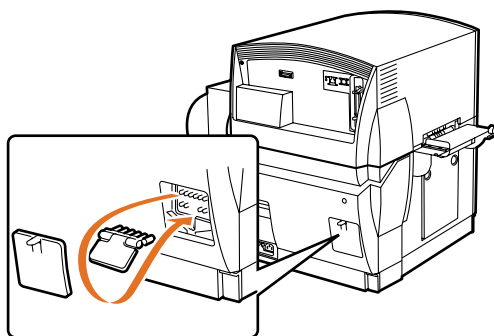
注意

本機は水平を保ったまま静かに移動してください。

移動によりインクが本体内にこぼれると、火災、感電、故障の原因となります。

5

設置したらサブカバー内のキャップを
下側の穴に戻してください。



6

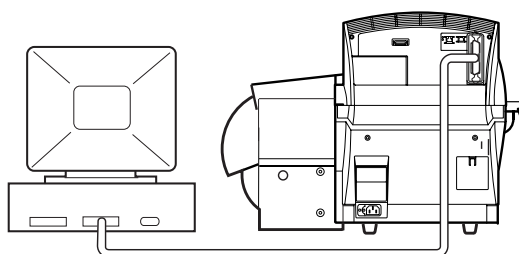
電源コードとアース線を接続しま
す。

7

パソコンと接続する。

ご使用になるインタフェースに合わせて、専
用のケーブルで接続してください。

パラレルインタフェースで接続する場合は図
のように接続します。



メモ

本機はパラレルインタフェースのほかに、USB および 10BASE-T で接続することができます。

USB の場合は、最初にパソコンに接続したときに Windows 98 のプラグ&プレイ機能を使ってプリンタドライバをインストールします。接続する前に「ソフトウェアのインストール」(81ページ)をお読みください。なお、パソコン側のパラレルインタフェースが片方向通信に設定されている場合、ステータスマニタ等の機能は動作しません。

2. ソフトウェアのインストール

付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」には、本機を Windows 環境で使うために必要なソフトウェアが収録されています。

ここでは、以下のソフトウェアのインストール（導入）方法について説明します。

- Windows 98/95 用プリンタドライバ
 - ・パラレルインタフェースで使う場合 (→ 82 ページ)
 - ・USB インタフェースで使う場合 (→ 84 ページ)
- Windows NT 用プリンタドライバ (→ 86 ページ)
- ステータスマニタ (Windows98 用) (→ 89 ページ)
- CAILPR ソフト (Windows98/95 用) (→ 90 ページ)



× モ

本機を10BASE-Tで、ローカルエリアネットワークに接続した場合のネットワークおよびネットワーク用ソフトウェアのインストールおよび使用方法については、「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」収録のマニュアル（「Pnconfig for Windows 操作マニュアル」および「NetWare ユーティリティについて」）をお読みください。

■ 動作環境について

コンピュータ本体

Intel Pentium(TM)以上のCPUを搭載した Windows 95、Windows 98、Windows NT4.0 が動作するパーソナルコンピュータ。

基本ソフトウェア

Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、および Microsoft Windows NT4.0 日本語版

※ USB インタフェースは Windows 98 のみ対応です。

ハードディスク

インストール時に 30M バイト以上の空き容量が必要です。

CD-ROMドライブ

プリンタドライバのインストールやユーザーズガイドCD-ROM を読むために必要となります。

推奨インタフェース

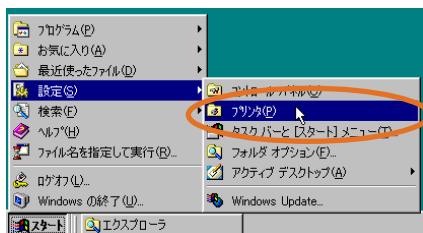
1. USB (Windows 98 のみ対応)
2. 10BASE-T
3. パラレルインタフェース

※同時に複数のインタフェースに接続して使用することができます。

Windows 98/95用プリンタドライバ

■ パラレルインタフェースで使う場合

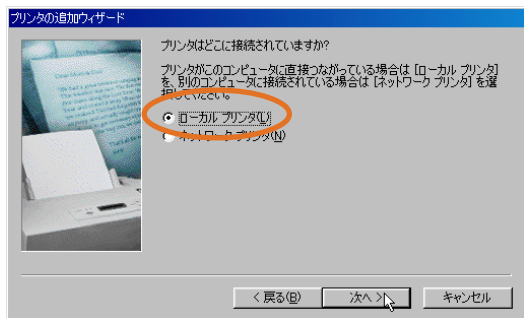
- 1** スタートメニューで **【設定】 - 【プリンタ】** を選択します。
プリンタフォルダが表示されます。



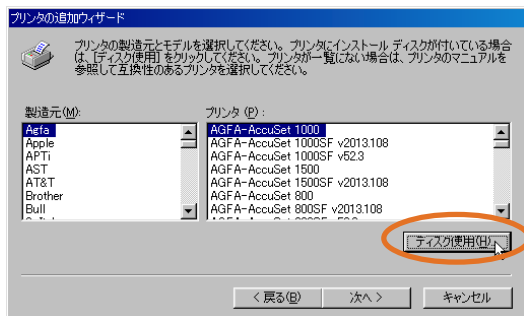
- 2** **【プリンタの追加】** アイコンをダブルクリックします。
プリンタの追加ウィザードが表示されます。



- 3** **【次へ】** をクリックし、プリンタの接続先を選択して **【次へ】** をクリックします。
お使いのパソコンに接続して使用する場合は **【ローカルプリンタ】** を選択します。

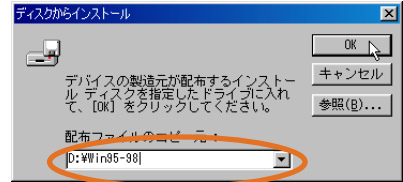


- 4** **【ディスク使用】** をクリックします。
【ディスクからインストール】ダイアログが表示されます。

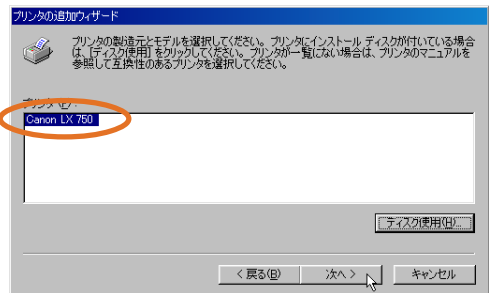


5 付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

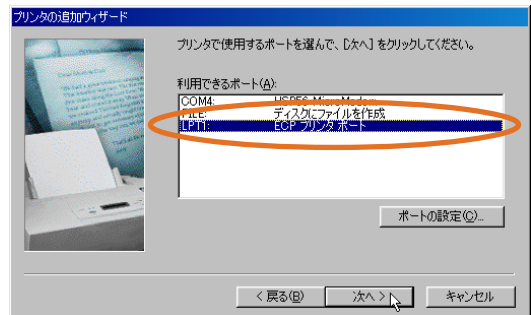
6 【配布ファイルのコピー元】に「D:¥Win95-98」と入力して【OK】をクリックします。
「D:¥」の部分には、お使いのパソコンのCD-ROMドライブ名を入力してください。



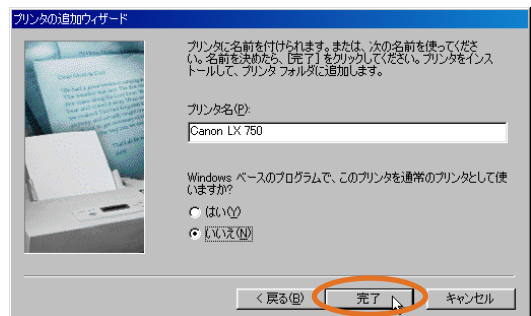
7 【Canon LX 750】を選択して【次へ>】をクリックします。



8 【LPT1: ECPプリンタポート】を選択して【次へ>】をクリックします。
パラレルインタフェースの設定がECPポートの場合です。



9 【完了】をクリックします。
ファイルのコピーが行われ、プリンタドライバのインストールが行われます。



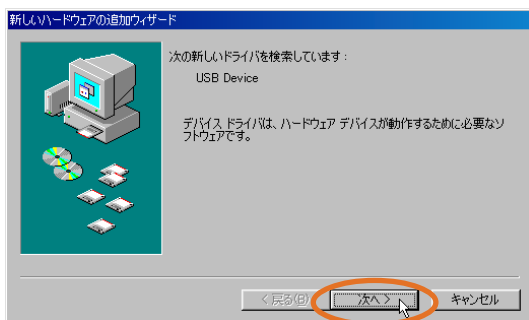
■ USB インタフェースで使う場合

USB インタフェースは、Windows 98 でのみお使いいただくことができます。

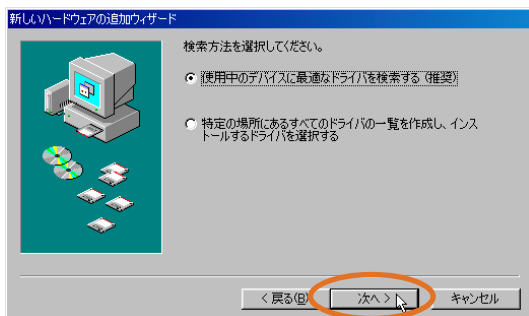
1 Windows 98/95用プリンタドライバの「パラレルインタフェースで使う場合」の手順1～手順9を参考に、プリンタドライバをインストールします。

2 USB ケーブルが接続されていない状態で、パソコンと本機を起動します。

3 パソコンと本機を USB ケーブルで接続します。
本機が自動的に検出され、[新しいハードウェアの追加ウィザード] が表示されます。



4 [次へ>] をクリックし、[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択して [次へ>] をクリックします。

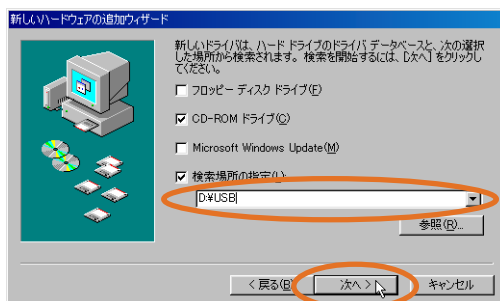


5 付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

6

【CD-ROMドライブ】と【検索場所の指定】をクリックしてチェックマークを付け、ボックスに「D:¥USB」と入力して【次へ】をクリックします。

「D:¥」の部分には、お使いのパソコンのCD-ROMドライブ名を入力してください。



7

【次へ>】を何度かクリックし、「新しいハードウェアがインストールされました」と表示されたところで【完了】ボタンをクリックします。

8

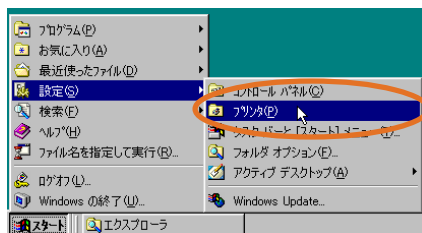
パソコンを再起動します。

Windows NT 用プリンタドライバ

Windows NT では、本機をパラレルインタフェースまたは 10BASE-T で接続します。
USB インタフェースではお使いになれません。

1 スタートメニューで【設定】 - 【プリンタ】 を選択します。

プリンタフォルダが表示されます。



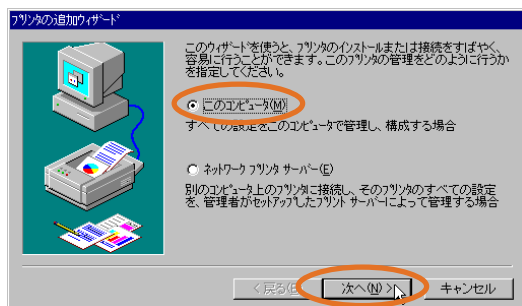
2 【プリンタの追加】 アイコンをダブルクリックします。

プリンタの追加ウィザードが表示されます。



3 プリンタの管理方法を選択して【次へ】 をクリックします。

お使いのパソコンに接続して使用する場合は
【このコンピュータ】 を選択します。



4 使用するポートを選択して【次へ】 をクリックします。

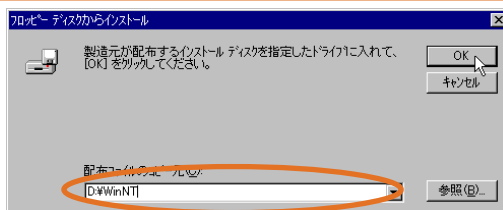
パラレルインタフェースで接続する場合は、
[LPT1:] を選択します。
10BASE-Tで接続する場合は、[ポートの追加] をクリックし、[LPR-Port] を選択して
[新しいポート] をクリックし、IP アドレスと
サーバーのプリンタ名 (LP) を入力します。
[LPR Port] が選択できない場合は、Win-
dows NT のマニュアルをお読みください。



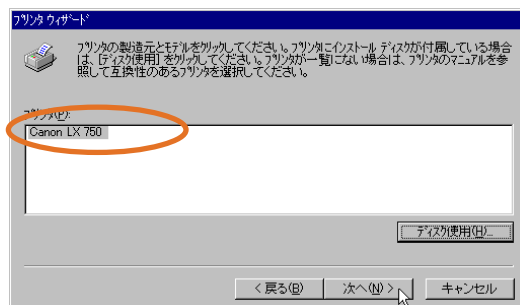
- 5 【ディスク使用】 をクリックします。
 [フロッピーディスクからインストール] ダイアログが表示されます。

- 6 付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

- 7 【配布ファイルのコピー元】に「D:¥WinNT」と入力して【OK】をクリックします。
 「D:¥」の部分には、お使いのパソコンのCD-ROMドライブ名を入力してください。



- 8 【Canon LX 750】を選択して【次へ>】をクリックします。



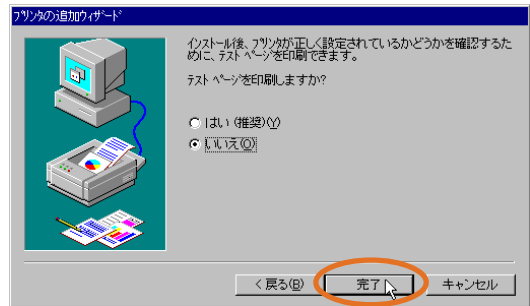
- 9 プリンタ名を確認して【次へ>】をクリックします。

- 10 プリンタを他のパソコンからも共有する場合は【共有する】を選択し、【次へ>】をクリックします。
 共有する場合は、【共有名】を入力し、共有する側のパソコンのOSを選択しておきます。



11

テストパターン印刷で【いいえ】を選択し、【完了】をクリックします。



ステータスマニタ

ステータスマニタは、Windows 98のみでお使いになれます。Windows 95/NTではお使いになれません。



本機をパラレルインタフェースで接続してお使いの場合、パソコン側のパラレルインタフェースが片方向通信に設定されているとステータスマニタの機能は動作しません。パラレルインタフェースの設定が可能なパソコンでは、必ず双方向通信に設定してください。

1

付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

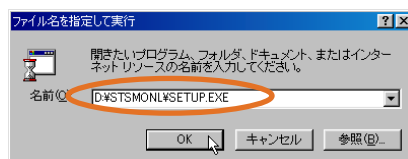
2

スタートメニューで「ファイル名を指定して実行」を選択します。

3

[D:¥STSMONL¥SETUP.EXE]と入力して【OK】をクリックします。

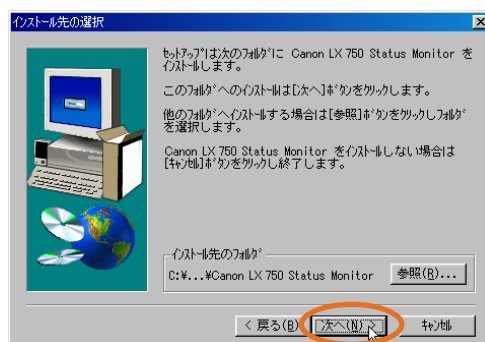
「D:¥」の部分には、お使いのパソコンのCD-ROMドライブ名を入力してください。



4

【次へ>】をクリックし、インストール先のフォルダを確認して【次へ>】をクリックします。

インストール先を変更するときは【参照】をクリックして任意のインストール先フォルダを指定してください。



5

プログラムフォルダ名を確認して【次へ】をクリックします。

6

【完了】をクリックします。

CAILPRソフト

CAILPRソフトは、本機を 10BASE-T でローカルエリアネットワークに接続したときに、Windows98/95 から直接本機を使用するために使います。

CAILPRソフトをインストールすることによって新しいポートがWindowsに用意されますので、プリンタドライバのプロパティで [詳細] タブをクリックし、[印刷先のポート] で「CAILPR」を選択してお使いください。



インストール中に本機の IP アドレスを入力する必要があります。
あらかじめネットワーク管理者に確認しておいてください。

1

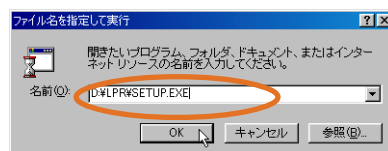
付属の「プリンタドライバ/ユーザーズガイドCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

2

スタートメニューで [ファイル名を指定して実行] を選択します。

3

[D:¥LPR¥SETUP.EXE] と入力して [OK] をクリックします。
「D:¥」の部分には、お使いのパソコンのCD-ROMドライブ名を入力してください。



4

画面のメッセージに従ってインストールを行ってください。

3. 仕 様

印字方式		バブルジェット記録方式		
印字色		フルカラー		
解像度		600dpi × 600dpi		
印字速度	フルカラー	50、80、100mm/秒・可変（オートモード） 50～100mm/秒・10単位で設定（マニュアルモード）		
	モノカラー	100mm/秒		
最大印字領域		102 (W) mm × 700 (L) mm		
印字余白		先端 1.5mm、後端 1.5mm 左右 3.5mm（セパレータ込み）		
印字ヘッド		2,432ノズル×4本/4色（有効ノズル2,400）		
用紙	用紙種	カラーラベルプリンタ専用紙（マットコート紙、光沢紙）		
	用紙サイズ	幅50mm～109mm、長さ38mm～1000mm		
	紙厚	0.20mm～0.24mm		
	巻外径／巻芯径	最大200mm以内／紙管76.2mm		
使用インク	種類	専用インクカートリッジ ブラック（Bk） 専用インクカートリッジ イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）		
	保管期限	1年：0℃・5%～35℃・90%（ただし、結露なきこと）		
インタフェース		IEEE1284準拠パラレルインタフェース	ユニバーサルシリアルバス（USB）	IEEE802.3 10BASE-T（TCP/IP、IPX/SPX）
インタフェースコネクタ		アンフェノール57-40360相当	USB（シリーズB）レセプタクル	RJ45-8ピン・モジュラ・コネクタ
推奨プリンタケーブル	素材	AWG28以上	AWG28以上	AWG22～AWG26
	タイプ	ツイストペアシールド付きケーブル	ツイストペアシールドケーブル（フルスピードモード対応）	シールドなしツイスト・ペア・ケーブル
	長さ	最大2.0m	最大2.0m	100m以下*1
	コネクタ	アンフェノール30360相当	USB（シリーズB）プラグ	RJ45-8ピン・モジュラ・コネクタ
本体サイズ		幅690×奥行440×高さ490mm		
重量		約34Kg（本体のみ）		
設置環境		15℃・10%～30℃・80%（ただし、結露なきこと）		
消費電力	通常モード時	130W（Max）		
	節電モード時	18W（Max）		
オプション		オートカッター		

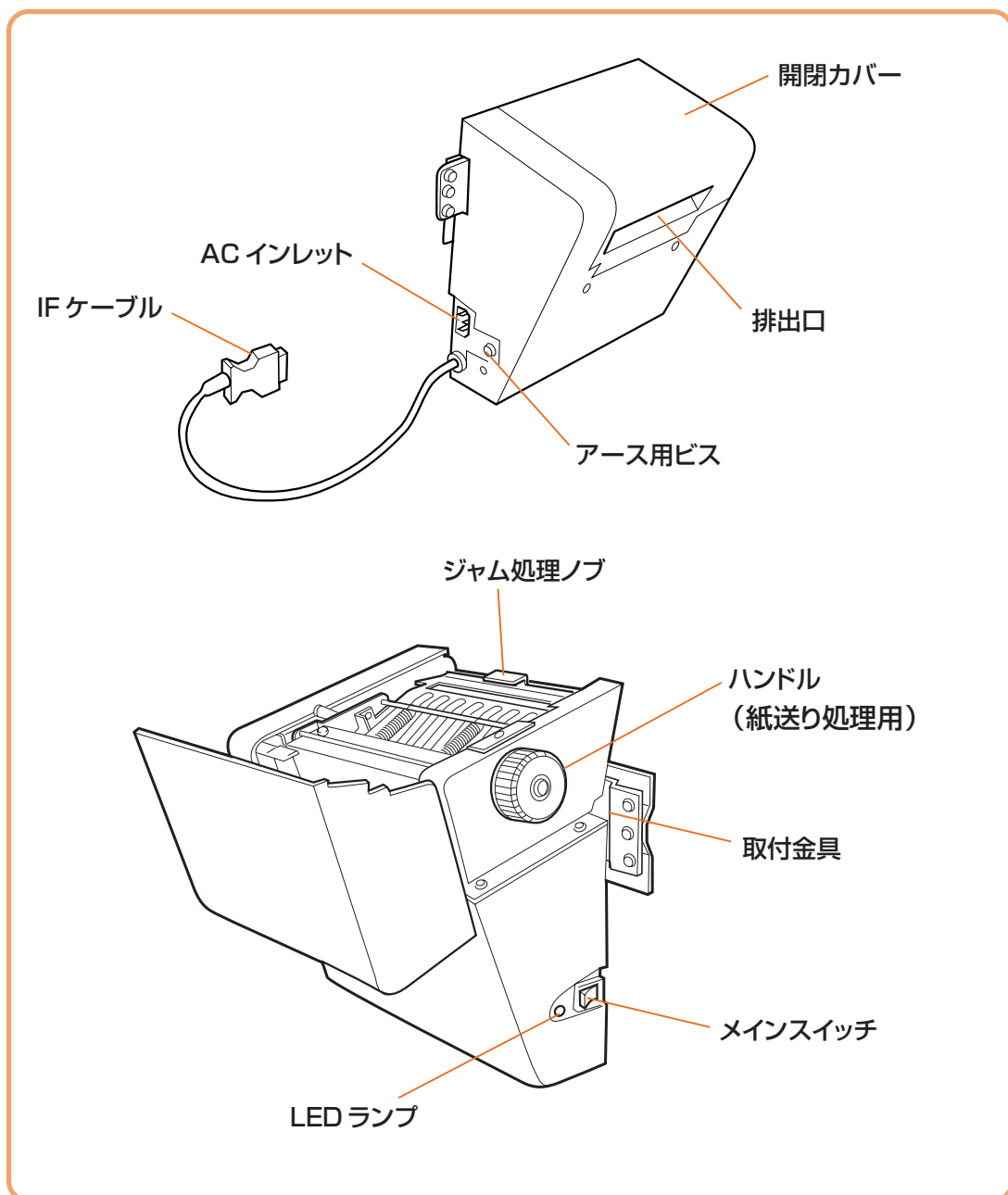
※1 10BASE-Tケーブルで使用する場合は、HUBへの接続は規格上4段までです。
また、必要以上にケーブルを長くしないことをお奨めします。

4. オートカッターの使いかた（オプション）

オプションのオートカッターをご購入頂くと、用紙のカット位置やカット間隔を設定し、自動で用紙をカットすることができます。

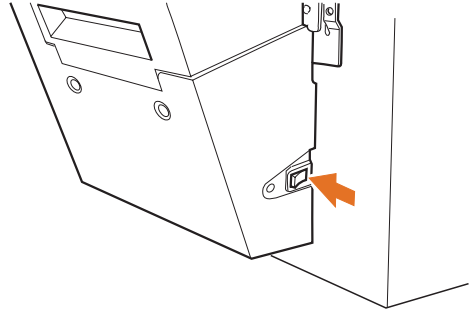
ここではオートカッターの各部の名称や使いかたについて詳しく説明します。

■ 各部の名称



■ オートカッター使用時の設定

- 1** プリンタ本体の電源が入っていることを確認してから、オートカッターの電源スイッチを ON にします。

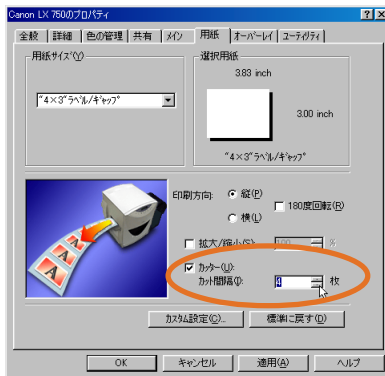


- 2** プリンタドライバのプロパティで、オートカッターを使用するかしないかを設定します。

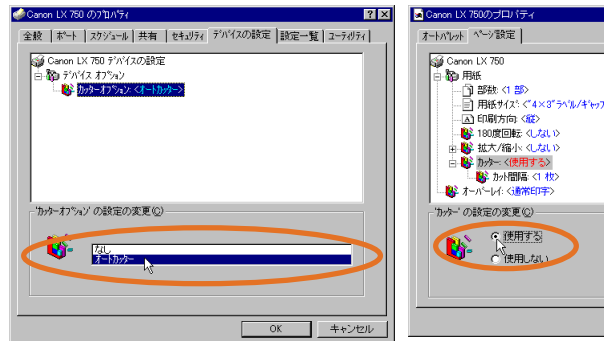
Windows98/95 では、[用紙]タブで[カッター]をチェックして設定します。

WindowsNTではプリンタプロパティの[デバイスの設定]タブで[デバイスオプション]-[カッターオプション]をクリックし、[カッターオプションの設定の変更]で[オートカッター]に設定します。そしてドキュメントプロパティの[ページ設定]タブで[用紙]-[カッター]をクリックし、[カッターの設定の変更]で[使用する]に設定します。

Windows 98 / 95 の場合



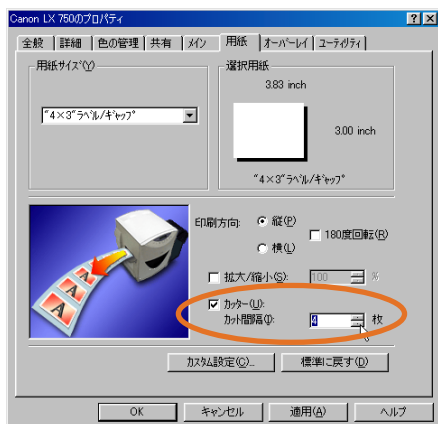
Windows NT の場合



■ カット間隔の設定

プリンタドライバのプロパティで、印刷済みの用紙を何枚ごとにカットするのかを枚数で指定します。Windows98/95では、[用紙]タブで[カッター]をチェックして[カット間隔]を設定します。WindowsNTではドキュメントプロパティの[ページ設定]タブで[用紙]-[カッター]-[カット間隔]をクリックして[カット間隔の設定の変更]で設定します。カット間隔は1～9999枚の範囲で設定できます。

Windows 98 / 95 の場合



Windows NT の場合



■ カット位置の調整

プリンタドライバのユーティリティ機能を使って印刷済みの用紙のカット位置を調整します。

- 1 Windows98/95、WindowsNT 共に[ユーティリティ]タブの[カッター調整]ボタンをクリックします。



- 2 [カッター調整]ダイアログボックスが表示されますので、[カット位置]スライドつまみで用紙のカット位置を調整してください。

現在の位置から印刷方向に対してプラス方向、マイナス方向に調整します。

設定できる範囲は、-10～+10mmです。
(単位はミリとインチに切替られます)



- 3 [送信]をクリックすると調整したカット位置が設定されます。

- 4 設定終了後印刷を行ない、用紙間の中央をカットしていることを確認し、実際の印刷を行なってください。



注意

印刷中は、オートカッターの開閉カバーを開けないでください。印刷が正常に行なわれません。
印刷速度およびマーク幅の設定によっては、-10～-4.5mmの調整が有効にならない場合があります。
用紙を交換した際は、必ずカット位置の調整を行なってください。ただし、用紙種類が[TOFなし]の場合は、カット位置の調整ができません。



メモ

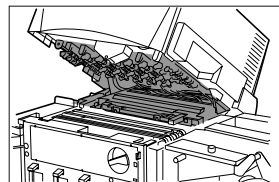
[停止位置]は、ラベルカッターでカットするときの用紙位置についてのみ機能します。
オートカッター使用時は機能しません。

■ 用紙が詰まったら

オートカッター使用時に紙詰まりが発生した場合は、以下の方法で詰まった用紙を取り除いてください。



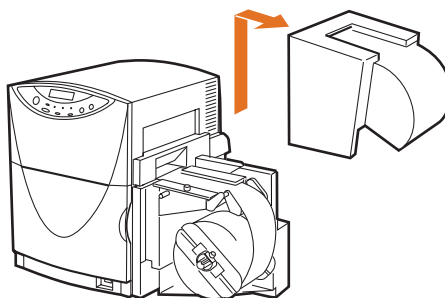
ヘッド周辺（右図のグレー部分）に手を振れないように注意してください。故障やけがの原因となります。



用紙は、カラーラベルプリンタ専用紙を使用してください。カラーラベルプリンタ専用紙以外の用紙を使用すると、にじみやかすれが生じたり、紙詰まりの原因となる場合があります。また、カールしたり折り目のある用紙を使用すると、故障の原因となります。

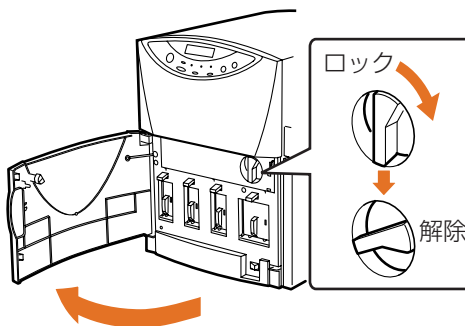
1

ロールカバーを上方に持ち上げて取り外します。



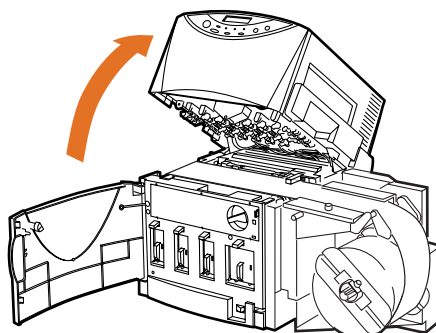
2

前ドアを開け、PHSユニットロックハンドルを「解除」位置にします。



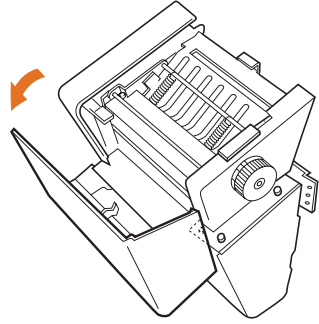
3

PHSユニットを持ち上げて開きます。



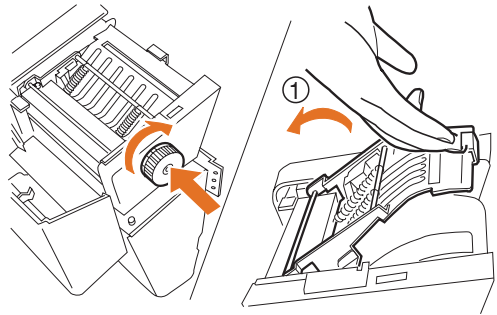
4

カッターの開閉カバーを開けます。



5

カッター内部に詰まった用紙は、右の図のようにハンドルを押しながら時計方向に回した後、ラベル等の貼り付きがないか確認を行ってください。ラベルや切りくずが詰まっていると正常に動作しませんので必ず取り除いてください。

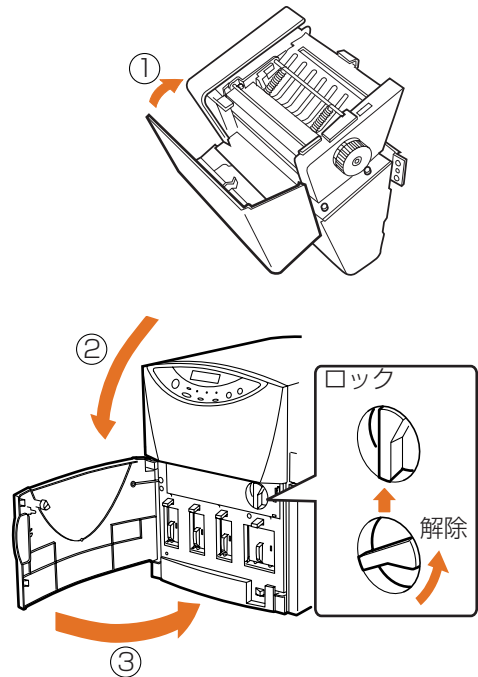


注意

カッターの刃の部分はケガ等危険なため、触れない様に十分な注意をしてください。

6

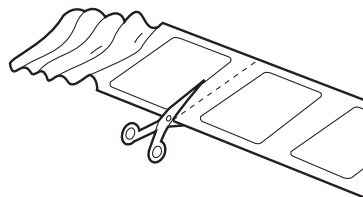
カッターの開閉カバー、プリンタのPHSユニット、前ドアの順に閉じます。



7

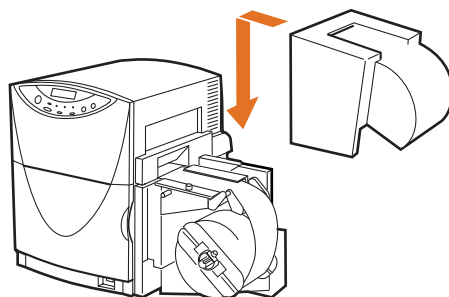
用紙の先端をきれいにカットして用紙をセットします。

用紙のセット方法については19ページをお読みください。



8

ロールカバーを取り付けます。



9

オンライン キーを押します。

クリーニングが行われ、印刷が再開されます。

印刷を中断する場合は **印刷中止/リセット**

キーを押してください。

■ オートカッター製品仕様（オプション）

形 式	ロータリー式自動カッター	
設置方式	プリンタ排紙口にビスで固定	
切断速度	用紙搬送速度 150mm/s まで対応	
用紙条件	種 類	カラーラベルプリンタ専用紙（マットコート紙、光沢紙）
	サイズ	幅 ： 50mm ～ 109mm 長さ： 38mm ～ 1,000mm
	紙 厚	0.2mm ～ 0.24mm
消費電力	30W	
電 源	100V/50・60Hz	
外形寸法	幅 105mm × 奥行き 240mm × 高さ 220mm	
重 量	4.5Kg	
使用環境	湿度：5℃～35℃ 湿度：10%～90%（但し、結露なきこと）	
装置寿命	5年または150万カットのいずれか早い方	

索引

【英数字】

10BASE - Tコネクタ	10
BJラインヘッド	11
CAILPRソフトのインストール	90
IPX/SPX 接続	56
PHSユニット	10
TCP/IP 接続	55
USBインタフェースで使う	84
USBコネクタ	10
Windows 98/95 のプロパティ	31
Windows NT のプロパティ	32

【あ】

[アラート] タブ	56
移動について	79
意味不明の文字や画像が印刷される	76
色がおかしい	77
[色設定] タブ	37
インクカートリッジの交換	66
印刷が遅い	76
印刷が始まらない	75
印刷可ランプ	13
印刷中止 / リセット キー	29
印刷の開始	26
印刷の準備	25
印刷の中止	29
印刷の向き	42
印刷品質が悪い	77
印刷部数	34
インストール	81
エラーメッセージ	70
オートカッター使用時の設定	93
オートカッターの使いかた	92
オートパレット	33
[オートパレット] タブ (NT)	33
オートパレットの登録	39
オートパレットのプロパティ	35
オーバーレイ印刷	49
[オーバーレイ] タブ	48
オフライン	15
オンライン	15
オンライン キー	13

【か】

拡大 / 縮小印刷	43
各部の名称と役割	10
カスタム設定	45
画像が暗い (明るい)	78
カッター調整	52
カット位置の調整	95
カット間隔の設定	94
紙送り キー	15
[クオリティ] タブ	36
クリーニング	60
クリーニング キー	13
困ったときは	70

【さ】

仕様	91
ジョブランプ	13
ステータスマニタのインストール	89
ステータスマニタの設定	55
清掃	68
[設定一覧] タブ (NT)	39
設定値印刷	65
節電 キー	12
節電設定	51
節電モード	12
操作パネルの使いかた	13
ソフトウェアのインストール	81

【た】

通信インターバル	57
通信タイムアウト	57
通常モード	12
停止位置の調整	52
[デバイスの設定] タブ (NT)	44
電源が入らない	75
電源の入れかた	12
電源の切りかた	12
[特殊効果] タブ	36

【な】

ノズルチェックパターン	58
ノズル位置調整パターン	62
ノズル位置の微調整	61
ノズル縦調整	64
ノズル横調整	64

【は】

パラレルインタフェースで使う	82
フォームファイルの作成	48
[プリンタ] タブ	55
プリンタドライバのインストール (98/95)	82
プリンタドライバのインストール (NT)	86
プリンタドライバの使いかた	30
プリンタプロパティ	32
[ページ設定] タブ (NT)	32
ヘッドのクリーニング	60

【ま】

[メイン] タブ	33
メイン電源スイッチ	12
メッセージ	16
メッセージランプ	13
[モニタリング] タブ	57
モノカラーで印刷される	78

【や】

[ユーティリティ] タブ	50
用紙がうまく送られない	76
用紙が詰まったら	72
用紙サイズを選択	41
用紙サイズの登録	45
[用紙] タブ	41
用紙のエンド処理	23
用紙の交換	22
用紙のセット	19

【ら】

ラベルカッターの使いかた	24
ローカル接続	55

